

報 告 第 1 号

平成23年度高知県公立高等学校入学者選抜における学力検査の
結果分析について

平成23年度高知県公立高等学校入学者選抜における学力検査の結果分析に
ついて、別添のとおり報告します。

平成23年度

高知県公立高等学校入学者選抜における
学力検査の結果分析

平成23年5月

高知県教育委員会

目 次

平成23年度高知県公立高等学校入学者選抜実施結果のポイント	1
I 平成23年度高知県公立高等学校入学者選抜の概要	2
II 学力検査（前期選抜）の実施結果	6
1 学力検査出題の基本方針	
2 学力検査結果の全体的な状況（全日制及び多部制昼間部）	
III 学力検査の教科別状況	11
国語	
社会	
数学	
理科	
英語	
〔参考〕平成22年度学習支援テスト	
教科別応答分析・学習状況アンケートのまとめ	41

平成23年度 高知県公立高等学校入学者選抜 実施結果のポイント

【入学者選抜の概要】

- 前期選抜の受検者数は4,806名、後期選抜の受検者数は1,130名、再募集の受検者数は227名であり、いずれも昨年度より減少した。
- 昨年度に比べ、各選抜の不合格者数は、前期選抜では24名減少、後期選抜では20名増加、再募集では39名減少した。
- 昨年度に比べ、前期選抜・後期選抜では定員内不合格者数が増加したが、再募集では減少した。

【前期選抜の分析結果】

○全体的な状況

- ・5教科総合の平均点は120.7点で、昨年度に比べ6.8点下がった。200点以上の受検者が減少し、74点以下の受検者が増加した。
- ・教科別では、昨年度に比べ理科の平均点は6.3点上がり、数学の平均点は7.6点下がり、社会の平均点は4.2点下がった。
- ・5教科総合の度数分布は、概ね正規分布に近く、検査問題として妥当であった。

○教科別の状況及び今後の指導上の改善点

	応答分析結果のポイント	指導上の重点
国語	〔言語事項〕は概ね良好。「読むこと」、「書くこと」は課題があり、言葉、文や文章についての正確な理解と定着が十分ではない。	○言葉、文や文章についての正確な理解と定着を図る活動を取り入れる。 ○文章の内容を正確につかみ、的確に表現する力を養う。 ○高知県国語学習シートを有効に活用する。
社会	地理的分野、歴史的な分野、公民的分野ともに、基本的な知識の定着と、それをもとに思考し判断する力がまだ身に付いていない。	○地図や資料から地理的事象を読み解く学習や歴史を大きな流れでとらえる学習、基本的な知識と社会的な事象とを関連付ける学習を進めるとともに、思考し判断させる学習を充実させる。
数学	「数と式」、「資料の活用」は概ね良好。「関数」、「図形」の理解と定着が十分ではない。思考力・判断力・表現力を問う記述式問題、知識・技能を活用する問題に課題がある。	○言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解させる。また、解法の根拠を明らかにし筋道を立てて体系的に考えさせる。 ○高知県中学校単元テストを有効に活用する。
理科	第1分野、第2分野ともに概ね良好ではあるが、データの活用や基礎的な用語の理解にはまだ課題がある。	○観察・実験から、科学的な見方や考え方を養い、自ら考え、表現する力を育てる。 ○自然の事物・現象についての確実な理解と定着が必要である。
英語	「聞くこと」は概ね良好。「読むこと」、「書くこと」には、引き続き課題がある。語彙や文法の基礎的事項の確実な定着や、まとまった量の英文読解が十分ではない。	○1年生から音読をさせたり、英語を書かせたりする活動を段階的、継続的に行う。 ○まとまった量の英文を読ませることにより、的確に文意を読み取る力を養う。 ○読んだり、聞いたりした英文を活用して書く活動の充実を図る。

【今後の指導上の重点項目】

- 中学校で学習する教科書レベルの内容の確実な定着を、最重点課題として取り組む必要がある。
- 家庭学習を含めた学習習慣の定着を図り、文章や問題を読み、考え判断し、表現する力を養う必要がある。

I 平成23年度高知県公立高等学校入学者選抜の概要

1 全体

	入学定員	合格者総数
全 日 制	5 6 9 5	4 6 5 3
多 部 制	3 6 0	2 0 3
定 時 制	5 2 0	1 1 6
合 計	6 5 7 5	4 9 7 2

(併設中学校からの進学者を含む。)

○ 全日制の課程合格率
96.0% 前年比 0.7ポイント減

○ 定員充足率

- ・ 全日制の課程 81.7% 前年比 2.8ポイント減
- ・ 多部制の課程 56.4% 前年比 1.6ポイント減
- ・ 定時制の課程 22.3% 前年比 2.3ポイント減

2 前期選抜

	前期選抜定員	受検者数	合格者数
全 日 制	4 2 0 5	4 6 0 3	3 5 4 1
多 部 制	1 8 0	2 0 2	1 3 4
定 時 制	2 0	1	0
合 計	4 4 0 5	4 8 0 6	3 6 7 5

○ 合格率

- ・ 全日制の課程 76.9% 前年比 0.6ポイント減
- ・ 多部制の課程 66.3% 前年比 6.2ポイント増
- ・ 定時制の課程 0.0% (前年度は志願者1名で合格1名)

○ 不合格者数

- ・ 全日制の課程 1 0 6 2人 前年比 前年と同じ
- ・ 多部制の課程 6 8人 前年比 25人減
- ・ 定時制の課程 1人 前年比 1人増

3 後期選抜

	後期選抜定員	受検者数	合格者数
全 日 制	1 8 2 7	9 4 7	6 7 7
多 部 制	2 2 6	8 9	6 0
定 時 制	5 2 0	9 4	5 4
合 計	2 5 7 3	1 1 3 0	7 9 1

○ 合格率

- ・ 全日制の課程 71.5% 前年比 4.5ポイント減
- ・ 多部制の課程 67.4% 前年比 8.7ポイント増
- ・ 定時制の課程 57.4% 前年比 8.6ポイント減

○ 不合格者数

- ・ 全日制の課程 2 7 0人 前年比 44人増
- ・ 多部制の課程 2 9人 前年比 28人減
- ・ 定時制の課程 4 0人 前年比 4人増

4 再募集

	再募集定員	受検者数	合格者数
全 日 制	1 1 4 6	1 5 9	9 8
多 部 制	1 2 9	1 3	7
定 時 制	4 6 6	5 5	3 4
合 計	1 7 4 1	2 2 7	1 3 9

○ 合格率

- ・ 全日制の課程 61.6% 前年比 19.2ポイント増
- ・ 多部制の課程 53.8% 前年比 5.0ポイント減
- ・ 定時制の課程 61.8% 前年比 10.8ポイント増

○ 不合格者数

- ・ 全日制の課程 6 1人 前年比 34人減
- ・ 多部制の課程 6人 前年比 1人減
- ・ 定時制の課程 2 1人 前年比 4人減

5 特例募集(多部制夜間部・定時制)

	特例募集定員	受検者数	合格者数
多 部 制	7 3	3	2
定 時 制	4 3 2	4 6	2 8
合 計	5 0 5	4 9	3 0

6 定員内不合格(全日制のみ)

	定員内不合格者数			
	前期選抜	連携型特別選抜	後期選抜	再募集
平成19年度入試	5 8	5	1 2 8	9 9
平成20年度入試	6 3	1	1 3 8	1 0 5
平成21年度入試	7 2	5	1 6 4	9 4
平成22年度入試	1 7 3	3	1 5 8	8 8
平成23年度入試	2 4 5	4	1 9 8	6 1

平成23年度 合格者等の状況 (学校別)

No.1 全日制

学校名	学科(科)名	入学定員 (区外)	前期選抜				後期選抜				再募集				合格者総数 (区外)	定員	入学許可者数 (区外)
			前期選抜定員 (区外)	志願者数 (区外)	受検者数 (区外)	合格者数 (区外)	後期選抜定員 (区外)	志願者数 (区外)	受検者数 (区外)	合格者数 (区外)	再募集定員 (区外)	志願者数 (区外)	受検者数 (区外)	合格者数 (区外)			
宮戸	総合	120	96	74	74	64	56	11	11	2	54	3	3	1	67	53	67
安芸	普通	160	69	71	71	69	20	3	3	2	18	1	1	1	136	24	136
安芸松ヶ丘	工業(機建)	20	18	7	7	5	15	1	1	0	15	4	4	4	9	11	9
	工業(土木建築)	20	16	5	5	5	15	2	2	2	13	0	0	7	13	7	
	工業(機工)	40	32	19	19	19	21	6	5	5	16	2	2	2	26	14	26
	商業(情シ)	40	32	19	19	19	21	5	5	4	17	2	2	1	24	16	24
城山	普通	80	64	39	35	27	53	26	26	19	34	11	11	7	53	27	53
山田	普通	160	112	111	108	99	61	23	23	16	45	9	9	6	121	39	121
	商業(商実)	40	28	29	29	16	24	6	6	4	20	3	3	2	22	18	22
嶺北	普通	80	20	2	2	2	41	2	2	1	40	1	1	0	40	40	39
高知農業	農業(農総)	40	32	48	48	32	8	6	6	4	4	2	2	2	38	2	38
	農業(畜総)	40	32	53	53	28	14	9	9	6	8	1	1	0	32	8	32
	農業(森総)	40	32	31	31	16	24	8	8	2	22	0	0	18	22	18	
	農業(農土)	40	32	16	16	9	31	10	10	3	28	1	1	0	12	28	12
	農業(食シ)	40	32	53	53	32	8	4	4	2	6	0	0	34	8	34	
高知東工業	工業(生総)	40	32	48	45	32	8	7	7	5	3	0	0	37	3	37	
	工業(機機)	40	32	50	50	32	8	5	5	4	4	3	3	1	37	3	37
	工業(機機刃)	40	32	31	31	32	8	6	6	4	4	1	1	1	37	3	37
	工業(電子)	40	32	42	42	32	8	8	8	7	1	0	0	39	1	39	
	工業(電機)	40	32	42	42	32	8	5	5	4	4	0	0	38	4	38	
	工業(理工)	40	32	21	21	20	20	11	11	6	12	8	7	4	32	8	32
岡豊	普通	240(48)	192(38)	233(43)	232(43)	192(38)	48(10)	47(4)	47(4)	40(4)	8(4)	4(4)	4(3)	235(42)	5	235(42)	
	普通(芸術コース)	40	32	32	32	32	8	0	0	0	8	1	1	1	33	7	33
	普通(体育コース)	40	32	38	37	33	8	9	9	5	3	1	1	0	38	3	38
高知東	総合	200(40)	160(32)	204(17)	199(17)	160(16)	40(25)	51(1)	50(1)	40(1)	0	0	0	200(16)	0	200(16)	
	看護(看護)	30	24	46	46	24	6	11	11	6	0	0	0	39	0	39	
高知南	普通	200(40)	80(32)	87(10)	88(9)	63(9)	47(31)	34(2)	34(2)	18(1)	29	16	16	10	162(10)	18	162(10)
	国際(国際)	40	20	11	11	9	13	7	7	7	6	0	0	33	7	33	
高知工業	工業(機機)	40	32	58	57	33	8	9	9	8	0	0	0	41	0	41	
	工業(電機)	40	32	60	60	32	8	5	5	5	3	1	1	1	38	2	38
	工業(機機)	40	32	58	57	32	8	10	8	8	0	0	0	40	0	40	
	工業(化工)	40	32	38	38	32	8	8	8	8	0	0	0	40	0	40	
	工業(土木)	40	32	37	38	33	8	10	10	8	0	0	0	41	0	41	
	工業(建築)	40	32	35	35	33	8	8	8	7	1	0	0	40	1	40	
	工業(メカ)	40	32	31	30	32	8	7	7	6	2	1	1	39	1	39	
高知追手前	普通(人文コース)	160	160	168	155	155	5	2	2	0	5	2	2	0	155	5	155
	普通(科学コース)	120	120	149	127	122	0	0	0	0	0	0	0	122	0	122	
百北	普通	40	32	14	14	11	29	5	5	5	24	1	1	0	16	24	16
高知丸の内	普通	140	112	200	198	112	28	37	37	28	0	0	0	140	0	140	
	音楽(音楽)	10	10	15	15	10	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10	
	音楽(音楽)	5	5	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	
	音楽(音楽)	30	30	25	25	24	6	1	1	1	5	0	0	25	5	25	
高知小津	普通	240(48)	192(38)	305(62)	289(61)	194(38)	48(10)	58(12)	58(12)	48(10)	0	0	0	242(48)	0	241(47)	
	理数(理数)	40	32	41	41	32	8	6	6	6	2	1	1	0	38	2	38
高知西	普通	240(48)	192(38)	278(52)	274(51)	192(38)	48(10)	60(6)	60(6)	49(5)	0	0	0	241(43)	0	240(42)	
	外国語(英語)	40	32	41	41	32	8	4	4	4	4	0	0	35	4	35	
伊野商業	商業(メディア)	40	32	48	48	25	15	13	13	8	7	2	2	0	38	7	38
	商業(国際)	40	32	40	38	24	15	16	16	7	9	4	4	2	33	7	33
	商業(情シ)	40	32	43	41	26	14	7	7	2	12	2	2	1	29	11	29
	商業(社会)	40	32	40	38	28	12	14	14	6	6	3	3	2	36	4	36
	商業(情知)	40	32	18	18	15	25	15	15	10	15	2	2	2	27	13	27
摩野	総合	160	112	120	118	101	59	54	54	44	15	16	13	5	150	10	150
高岡	普通	80	46	47	47	34	46	16	15	9	37	9	9	5	48	32	48
高知海洋	水産(海洋)	80	64	65	63	32	48	35	33	14	34	10	9	7	53	27	53
	船舶職員養成課程	[10]	[8]	[4]	[4]	[3]	[7]	[3]	[3]	[1]	[6]	[0]	[0]	[0]	[4]	[6]	[4]
須崎工業	工業(機機)	40	32	25	25	24	16	2	2	0	16	0	0	24	16	24	
	工業(造船)	40	32	30	30	22	18	7	7	2	16	4	4	3	27	18	27
	工業(電機)	40	32	31	31	30	10	1	1	0	10	0	0	30	10	30	
	工業(ユニバーサル)	40	32	16	15	13	27	7	7	5	22	4	4	3	21	19	21
須崎	総合	160	128	85	85	82	78	8	6	4	74	1	1	1	87	73	87
佐川	普通	120	84	53	52	50	70	3	3	3	67	1	1	1	54	68	54
窪川	普通	80	64	40	40	35	45	7	7	6	39	1	1	0	41	39	41
藤原	普通	80	24	12	12	12	45	7	7	6	40	3	3	3	43	37	43
四万十	普通	40	20	2	2	2	20	2	2	2	18	0	0	22	18	22	
	普通(自環コース)	40	32	12	12	12	30	9	9	6	24	0	0	16	24	16	

(注1) 区外の()は内訳
(注2) 高知海洋高校船舶職員養成課程の[]は内訳
(注3) 嶺北、須崎、四万十の前期選抜等合格者は、選抜型中高一貫教育校に係る特別選抜合格者数を含む
(注4) 安芸、高知南、中村の合格者総数には、併設中学校からの進学者数を含む

No. 2 全日制

学校名	学科(科)名	入学定員 (区外)	前期選抜				後期選抜				再募集				合格者数 (区外)	定員	入学許可者数 (区外)
			特別選抜 定員 (区外)	志願者 数 (区外)	受検者 数 (区外)	合格者 数 (区外)	特別選抜 定員 (区外)	志願者 数 (区外)	受検者 数 (区外)	合格者 数 (区外)	再募集 定員 (区外)	志願者 数 (区外)	受検者 数 (区外)	合格者 数 (区外)			
福多農業	農業(園シス)	40	32	47	47	33	8	6	6	3	5	0	0	38	5	38	
	農業(アグリ)	40	32	29	29	24	16	2	2	1	15	2	2	27	13	27	
	農業(グリーン)	40	32	21	21	13	27	4	4	2	25	0	0	15	25	15	
	農業(ローディネット)	40	32	37	37	32	8	2	2	1	7	0	0	33	7	33	
中村	普通	200	98	137	134	98	28	28	28	26	0	0	200	0	200		
	西土佐 普通	40	32	14	14	13	27	3	3	3	24	6	6	5	21	19	21
宿毛工業	工業(機械) [機械]	20	16	21	20	16	4	2	2	2	2	0	0	18	2	18	
	工業(機械) [自動車]	20	16	15	15	12	8	2	2	2	6	0	0	14	6	14	
	工業(建設) [土木]	20	16	7	7	5	15	1	1	0	15	0	0	5	15	5	
	工業(建設) [建築]	20	16	15	15	15	5	3	3	2	3	0	0	17	3	17	
	工業(電気)	40	32	35	35	33	8	2	2	2	6	1	1	1	38	5	38
工業(情報)	40	32	29	29	29	11	2	2	2	9	0	0	31	9	31		
宿毛	総合	160	128	120	120	104	56	30	29	17	39	5	5	2	123	37	123
大月	普通	40	20	18	17	15	25	8	7	9	16	8	8	5	29	11	29
	普通	120	72	74	73	71	49	5	6	4	45	0	0	75	45	75	
県立計		5415 (224)	3981 (178)	4347 (184)	4263 (181)	3317 (138)	1771 (88)	875 (25)	886 (25)	621 (21)	1146	164	159	98	4648 (159)	1060	4383 (157)

高知商業	商業(総ビ)	210	168	268	256	168	42	58	58	42	0	0	0	210	0	210
	商業(情シ)	35	28	45	45	28	7	10	10	7	0	0	0	35	0	35
	商業(国コ)	35	28	29	29	28	7	13	13	7	0	0	0	35	0	35
市立計		280	224	342	340	224	56	81	81	56	0	0	0	280 (0)	0	280 (0)

合計		5695 (224)	4205 (178)	4689 (184)	4603 (181)	3541 (138)	1827 (88)	956 (25)	947 (25)	677 (21)	1146	164	159	98	4848 (159)	1060	4643 (157)
----	--	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	----------	----------	----------	------	-----	-----	----	------------	------	------------

(注1) 区外の()は内数

(注2) 安芸、高知南、中村の合格者総数には、併設中学校からの進学人数を含む

平成23年度 連携型中高一貫教育校に係る特別選抜志願者等の状況(学校別)

学校名	学科(科)名	入学定員	特別選抜			
			特別選抜 定員	志願者 数	受検者 数	合格者 数
國北	普通	80	入学定員内	39	38	37
備前	普通	80	入学定員内	25	25	22
四万十	普通	40	入学定員内	18	18	18
	普通(自習コース)	40	入学定員内	3	3	3
合計		240		85	84	80

平成23年度 合格者等の状況 (学校別)

多部制単位制

学校名	学科(科)名	入学定員 (成人)	前期選抜				後期選抜				再募集				特例募集				合格者数	定員	入学許可者数 (成人)
			前期選抜 定員 (成人)	志願者 数 (成人)	受検者 数 (成人)	合格者 数 (成人)	後期選抜 定員 (成人)	志願者 数 (成人)	受検者 数 (成人)	合格者 数 (成人)	再募集 定員 (成人)	志願者 数 (成人)	受検者 数 (成人)	合格者 数 (成人)	特例募集 定員 (成人)	志願者 数 (成人)	受検者 数 (成人)	合格者 数 (成人)			
中 益	普通(昼間)	40	32	29	28	17	23	14	14	8	17	3	3	1					24	16	24
	普通(夜間)	40 [4]	20	4	3	2	38 [4]	5 [0]	5 [0]	1 [0]	37	5	5	2	35	1	1	1	6	34	6 [0]
高知北	普通(昼間)	80	58	107	99	58	24	29	29	24	0								80	0	78
	普通(夜間)	40 [4]	24	38	33	24	18 [4]	24 [2]	23 [2]	18 [2]	0								40	0	40 [2]
	看護(短期)(技能連携)	40					40	3	3	3	0								3	37	3
大 方	普通(昼間)	80	48	40	39	35	45	14	12	8	37	5	5	4					47	33	47
	普通(夜間)	40 [4]					40 [4]	3 [1]	3 [1]	2 [1]	38	0	0		38	2	2	1	3	37	3 [1]
合 計		360 [12]	180	218	202	134	226 [12]	92 [3]	89 [3]	60 [3]	129	13	13	7	73	3	3	2	203	157	201 [3]

(注1) 成人の〔 〕は内数

定時制

学校名	学科(科)名	入学定員 (成人)	前期選抜				後期選抜				再募集				特例募集				合格者数	定員	入学許可者数 (成人)
			前期選抜 定員 (成人)	志願者 数 (成人)	受検者 数 (成人)	合格者 数 (成人)	後期選抜 定員 (成人)	志願者 数 (成人)	受検者 数 (成人)	合格者 数 (成人)	再募集 定員 (成人)	志願者 数 (成人)	受検者 数 (成人)	合格者 数 (成人)	特例募集 定員 (成人)	志願者 数 (成人)	受検者 数 (成人)	合格者 数 (成人)			
窪 戸	普通	40 [8]	20	2	1	0	40 [8]	1 [1]	1 [1]	1 [1]	39	3	3	3	38	3	3	3	7	33	7 [1]
山 田	普通	40					40	25	24	13	27	10	10	5	22	1	1	0	18	22	18
高知東工業	工業(機械)	40					40	14	14	5	35	7	7	2	33	10	10	3	10	30	9
高知工業	工業(機械)	40 [20]					40 [20]	11 [1]	10 [1]	6 [1]	34	6	6	3	31	8	7	4	13	27	13 [1]
	工業(電気)	40 [20]					40 [20]	1 [1]	1 [1]	1 [1]	39	2	2	1	38	3	3	2	4	38	4 [1]
	工業(土木)	40 [20]					40 [20]	2 [0]	2 [0]	1 [0]	39	2	2	1	38	2	1	1	3	37	3 [0]
	工業(情報)	40 [20]					40 [20]	4 [0]	4 [0]	2 [0]	38	5	5	2	36	5	5	2	6	34	6 [0]
高 岡	普通	40					40	7	5	3	37	3	3	3	34	2	1	1	7	33	7
須 崎	普通	40 [4]					40 [4]	2 [0]	2 [0]	1 [0]	39	5	5	5	34	1	1	1	7	33	7 [0]
佐 川	普通	40					40	9	9	6	34	0	0		34	0	0		6	34	6
宿 毛	普通	40					40	5	4	4	35	4	4	4	32	5	5	5	13	27	13
清 水	普通	40					40	1	1	1	39	0	0		39	0	0		1	39	1
合 計		480 [92]	20	2	1	0	480 [92]	82 [3]	77 [3]	44 [3]	438	47	47	29	407	40	37	22	85	385	94 [3]

高知商業 (商業 (商業))	40						40	17	17	10	30	8	8	5	25	8	3	0	21	19	21
----------------	----	--	--	--	--	--	----	----	----	----	----	---	---	---	----	---	---	---	----	----	----

総 合 計	520 [92]	20 [0]	2 [0]	1 [0]	0 [0]	520 [92]	99 [3]	94 [3]	54 [3]	468	55	55	34	432	49	48	28	116	404	115 [3]
-------	----------	--------	-------	-------	-------	----------	--------	--------	--------	-----	----	----	----	-----	----	----	----	-----	-----	---------

(注1) 成人の〔 〕は内数

Ⅱ 学力検査（前期選抜）の実施結果

1 学力検査出題の基本方針

中学校の学習指導要領にそって、基礎的・基本的事項の定着をみるとともに、思考力・判断力・表現力等の総合的な力を問うものとする。

- 1 各教科においては、一部の領域に偏らないようにした。
- 2 中学校における日常の学習活動の成果をみるものとした。
- 3 検査時間等を考慮し、適切な問題量とした。

2 学力検査結果の全体的な状況（全日制及び多部制昼間部）

(1) 学力検査受検者数等（平成23年2月8日実施分）

学力検査受検者数			抽出数
前期選抜受検者数	連携型中高一貫教育校に係る特別選抜受検者数	計	
4,769人 (4,912人)	84人 (89人)	4,853人 (5,001人)	各教科512 (注1)

()内は平成22年度の前期選抜における学力検査の受検者数である。

(注1) 前期選抜受検者の中から10人に1人の割合で抽出したもので、5教科すべてを受検した者の答案を分析対象としている。

(2) 平均点（各教科とも50点満点）

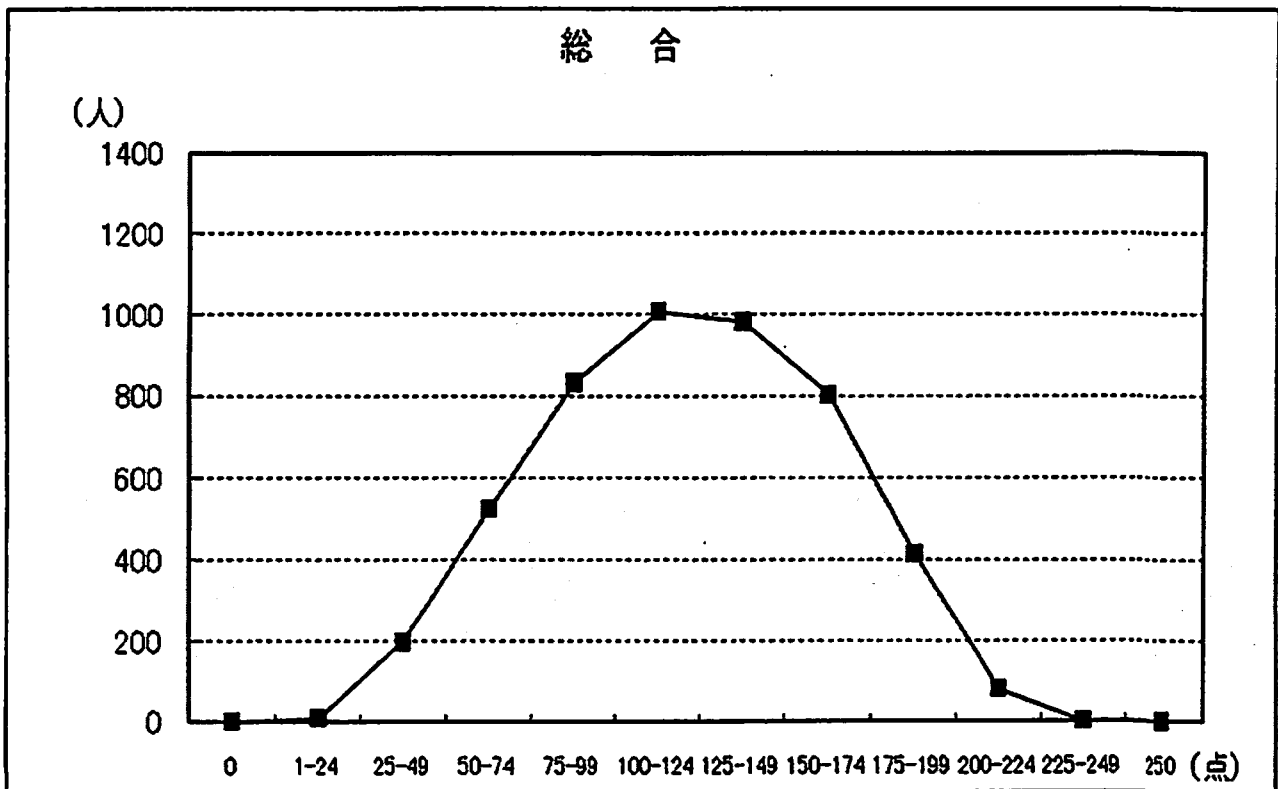
教科	国語	社会	数学	理科	英語	総合
平均点	25.4 (28.2)	24.7 (28.9)	18.1 (25.7)	29.6 (23.3)	22.9 (21.4)	120.7 (127.5)

()内は平成22年度の学力検査の値である。

(3) 個人別総合得点度数分布表 (250点満点) (全体)

得点階級	度数	得点階級	度数	得点階級	度数	得点階級	度数
0~4	1	65~69	123	130~134	185	190~194	51
5~9	0	70~74	137	135~139	204	195~199	60
10~14	0	75~79	134	140~144	185	200~204	33
15~19	1	80~84	165	145~149	210	205~209	31
20~24	8	85~89	156	150~154	180	210~214	8
25~29	7	90~94	187	155~159	172	215~219	6
30~34	34	95~99	190	160~164	174	220~224	2
35~39	35	100~104	173	165~169	151	225~229	1
40~44	56	105~109	206	170~174	126	230~234	0
45~49	65	110~114	197	175~179	124	235~239	0
50~54	80	115~119	216	180~184	100	240~244	0
55~59	84	120~124	214	185~189	81	245~250	0
60~64	102	125~129	198				

平均点 120.7

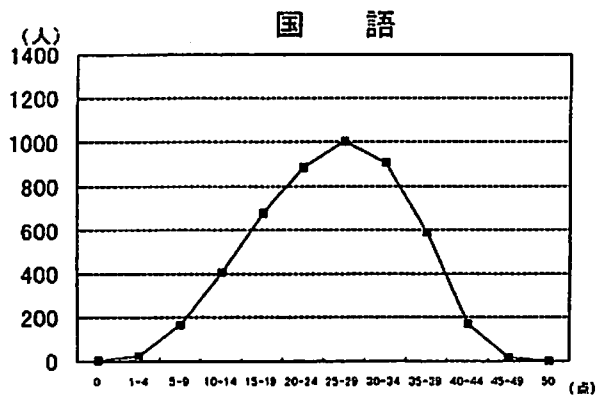


(4) 教科別得点度数分布表 (各教科とも50点満点)

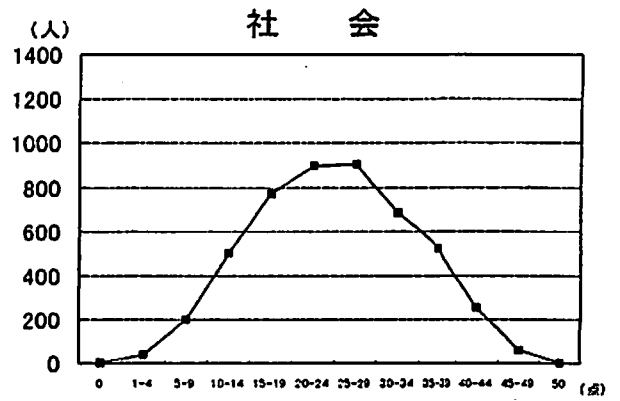
() 内は%

得点階級	教 科					合 計
	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	
0	3 (0.06)	3 (0.06)	17 (0.35)	4 (0.08)	1 (0.02)	28 (0.12)
1~4	23 (0.47)	40 (0.82)	257 (5.30)	30 (0.62)	8 (0.16)	358 (1.48)
5~9	167 (3.44)	202 (4.16)	567 (11.69)	210 (4.33)	234 (4.82)	1380 (5.69)
10~14	407 (8.39)	503 (10.37)	1152 (23.74)	322 (6.64)	739 (15.23)	3123 (12.87)
15~19	679 (13.99)	772 (15.91)	886 (18.26)	422 (8.70)	879 (18.12)	3638 (15.00)
20~24	887 (18.28)	898 (18.51)	767 (15.81)	530 (10.93)	937 (19.32)	4019 (16.57)
25~29	1005 (20.71)	904 (18.63)	603 (12.43)	626 (12.90)	858 (17.69)	3996 (16.47)
30~34	908 (18.71)	686 (14.14)	344 (7.09)	829 (17.09)	656 (13.52)	3423 (14.11)
35~39	589 (12.14)	524 (10.80)	200 (4.12)	803 (16.55)	354 (7.30)	2470 (10.18)
40~44	169 (3.48)	254 (5.23)	56 (1.15)	862 (17.77)	163 (3.36)	1504 (6.20)
45~49	16 (0.33)	62 (1.28)	3 (0.06)	208 (4.29)	22 (0.45)	311 (1.28)
50	0 (0.00)	4 (0.08)	0 (0.00)	5 (0.10)	0 (0.00)	9 (0.04)
総 計	4853	4852	4852	4851	4851	24259

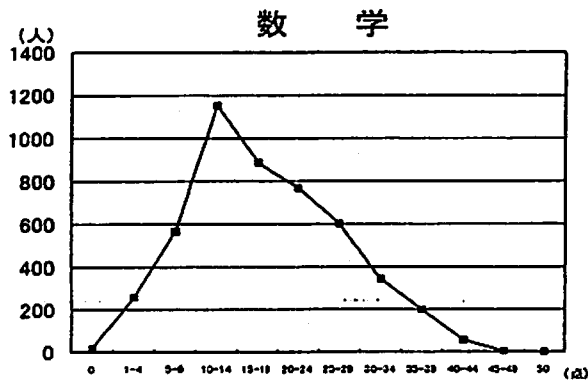
(5) 教科別得点度数比グラフ



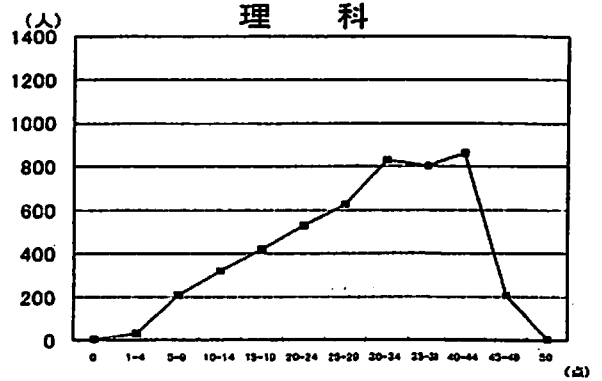
平均点 25.4



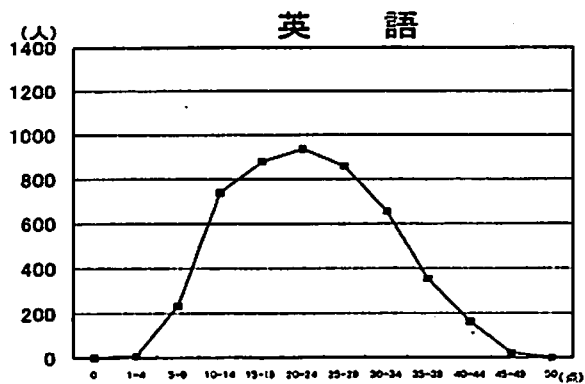
平均点 24.7



平均点 18.1



平均点 29.6



平均点 22.9

(6) 過年度比較

平均点の推移 (各教科とも50点満点)

	国語	社会	数学	理科	英語	総合
平成17年度	33.6	27.4	17.1	26.6	23.0	127.7
平成18年度	28.3	27.5	19.3	26.4	24.9	126.4
平成19年度	29.6	29.6	19.4	26.5	27.8	132.9
平成20年度	31.7	28.4	22.4	25.1	22.7	130.3
平成21年度	26.3	27.4	21.4	26.5	22.9	124.6
平成22年度	28.2	28.9	25.7	23.3	21.4	127.5
平成23年度	25.4	24.7	18.1	29.6	22.9	120.7
前年比増減	-2.8	-4.2	-7.6	+6.3	+1.5	-6.8

満点の人数

()内は%

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
平成22年度	3 (0.06)	22 (0.44)	17 (0.34)	3 (0.06)	2 (0.04)	47
平成23年度	0 (0.00)	4 (0.08)	0 (0.00)	5 (0.10)	0 (0.00)	9
前年比増減	-3	-18	-17	+2	-2	-38

0点の人数

()内は%

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
平成22年度	3 (0.06)	0 (0.00)	29 (0.58)	8 (0.16)	0 (0.00)	40
平成23年度	3 (0.06)	3 (0.06)	17 (0.35)	4 (0.08)	1 (0.02)	28
前年比増減	+0	+3	-12	-4	1	-12

250点満点で200点以上と74点以下の人数 ()内は%

	200点以上	74点以下
平成17年度	196 (6.83)	431 (15.01)
平成18年度	120 (5.09)	333 (14.13)
平成19年度	153 (6.60)	281 (12.13)
平成20年度	128 (5.37)	338 (14.18)
平成21年度	99 (4.16)	436 (18.31)
平成22年度	231 (4.62)	591 (11.82)
平成23年度	81 (1.67)	733 (15.10)
前年比増減	-150	+142

※5教科の学力検査は、平成17年度は1次募集(一部先行実施校での後期選抜を含む)で実施。

平成18年度から平成21年度は後期選抜。

平成22年度からは前期選抜。

Ⅲ 学力検査の教科別状況

国語

1 出題のねらい

「書くこと」、「読むこと」の2領域と〔言語事項〕について、基礎的・基本的事項を中心に、国語を適切に表現し正確に理解する力を確かめることをねらいとした。

- (1) 「書くこと」については、文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて的確に書き表す力をみるものとした。
- (2) 「読むこと」については、文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、文章の展開に即して内容を理解する力をみるものとした。
- (3) 〔言語事項〕については、漢字の読み書き、書写、語句の用法、文の構成の基礎的な事項や古文の仮名遣いについての力をみるものとした。

2 結果の概要

(1) 平均点(50点満点)の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
平均点	25.4	28.2	26.3	31.7	29.6

(2) 問題数の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
言語事項	1 3	1 2	1 1	1 1	1 2
現代文[文学的な文章]	(4)	(2)	3	3	4
現代文[説明的な文章]	5	5	4	4	4
古 典[古文・漢文]	4	5	4	3	4

(注) ()内は、文学的な文章から言語事項を出題したものである。

(3) 正答率の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
言語事項	61.7	67.9 (45.7)	67.1 (46.3)	72.2 (54.9)	64.3 (60.2)
現代文[文学的な文章]	—	— (64.5)	57.4 (39.6)	69.0 (41.0)	52.3 (63.9)
現代文[説明的な文章]	30.9	37.5 (40.3)	24.5 (31.6)	45.5 (51.3)	53.2 (49.7)
古 典[古文・漢文]	69.6	70.2 (40.8)	67.9 (37.7)	69.1 (46.8)	60.7 (50.1)

(注) ()内は、11月に県内公立高校の1年生を対象として国・数・英で実施した学習支援テストの正答率である。

3 結果の分析

(1) 問題構成は4問とし、文学的文章は、昨年度と同様に大問1で出題した。平均点は25.4点と昨年度より2.8点下がった。〔言語事項〕及び「書くこと」、「読むこと」の正答率が昨年度に比べて低くなり、無答率が高くなっている。

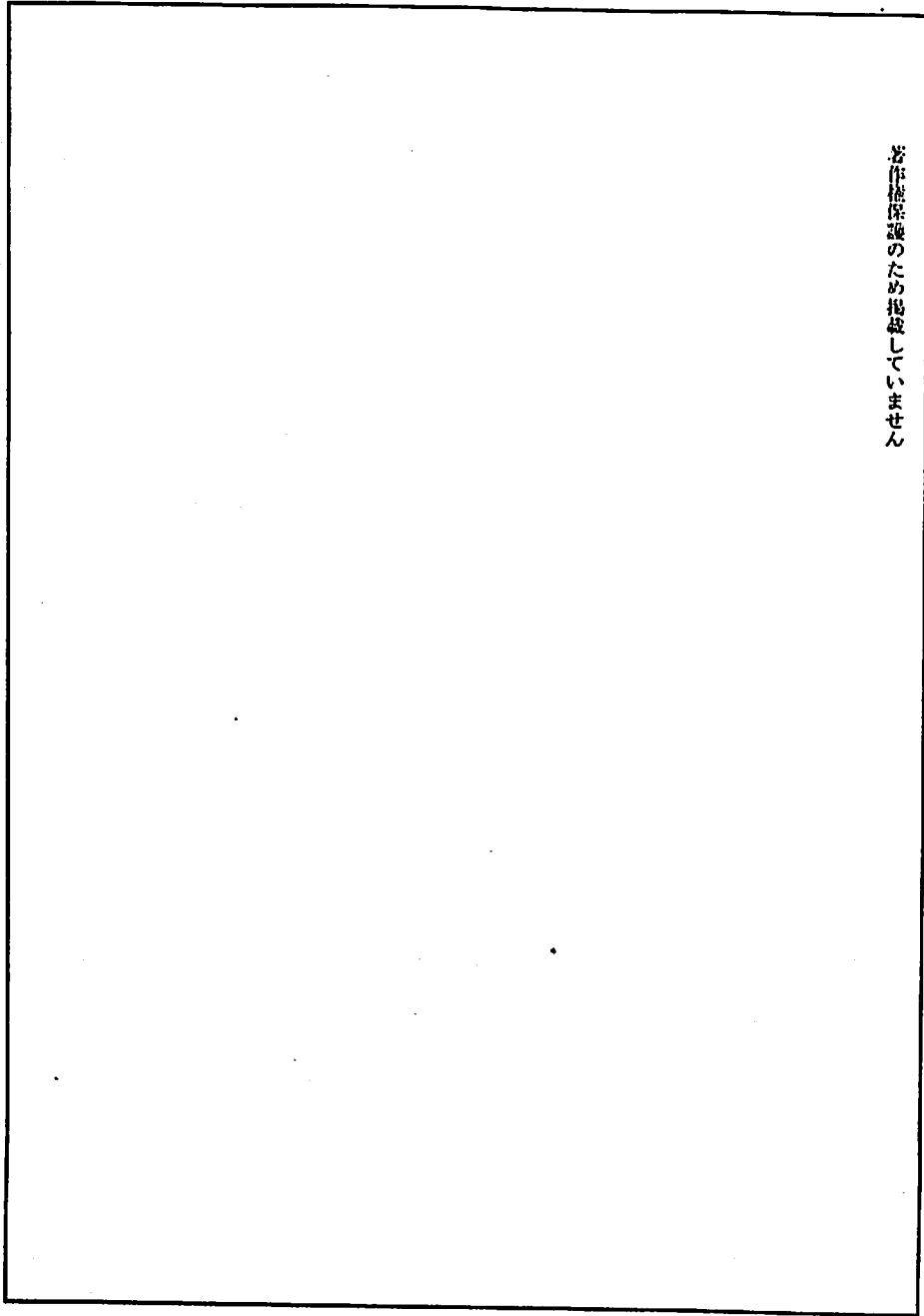
(2) 〔言語事項〕に関しては、基礎的な力は身に付いていると考えられるが、の(二)の2「就航」の正答率は2.2%、無答率は30.8%であり、漢字の正確な理解が十分でない。また、の(六)の2の活用形を答える問題の正答率も37.5%と低く、単語の活用や働きについての理解が十分でない。

の(四)との説明的な文章の記述問題の正答率は2.3%、3.5%と低い。また、の(二)の本文中の語句を抜き書きする問題の正答率は34.0%、の(三)の選択肢のある問題の正答率は39.1%とそれぞれ低く、多くの生徒が文章の展開や設問の内容を正確に把握できていない。

(3) 言葉に対する興味・関心を高めるとともに、それぞれの言葉の働きや言葉がもつ意味を正確に理解し、文や文章の中での的確に用いることができるようにしたい。また、多くの文章を読み、構成や展開を正確に把握するとともに、適切にその内容を表現する力を養いたい。そのためには、様々な種類の文章に接する機会を増やし、明確なねらいをもって学習活動に取り組みたい。

三 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません



問い 文章中の「——線部に「他人に物を贈る場合に、日本人らしいあいさつが生まれます」とあるが、なぜ筆者はこのような考えを持っているか。その理由を次の条件1〜3にしたがって書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を六十字以上七十五字以内の一文にまとめること。

条件2 文章中の「物のやりとり」、「日本人の特色」の二つの言葉を必ず使って書くこと。

条件3 文の終わりを「……から。」とすること。

四 次の文章を読み、後の(一)〜(四)の問いに答えなさい。

後鳥羽院の御時、水無瀬殿に夜な夜な山より、傘ほどの物の光りて、御簀へ飛び入る事侍りけり。西面、北面の者ども、面々に、「これを見あらはして、高名せん」と心にかけて、用心し侍りけれども、むなしくてのみ過ぎけるに、ある夜、かけかたただ一人、中嶋に寝て待ちけるに、例の光物、山より池の上を飛び行きけるに、起きんも心もとなくて、あふのきに寝ながら、よく引きて射たりければ、手こたへして、池へ落ち入る物あり。その後人々に告げて、火をともして面々見ければ、ゆゆしく大きなむささびの、年ふり、毛なども飛び、しぶとげなるにてぞ侍りける。

(注) 後鳥羽院…後鳥羽上皇のこと。

かけかた…武士の名前。

あふのきに…あおむけに。

水無瀬殿…後鳥羽上皇の離宮。

中嶋…離宮の池につくった島。

ゆゆしく…うす気味遅く。

年ふり…年をとる。

西面、北面…御所の警備をする武士。

心もとなくて…もどかしくて。

しぶとげなる…ずずしい格好をした。

(一)(二)(三)(四)

文章中の「——線部1の「見あらはして」を現代仮名遣いに直して、——線部全部をひらがなで書け。

文章中の「——線部2の「例の光物」の正体は何か。文章中から四字でそのまま抜き出して書け。

文章中の「——線部3の「告げて」の行爲を行った者はだれか。次のア〜エから一つ選び、その記号を書け。

ア 後鳥羽院

イ 西面、北面の者ども

ウ かけかた

エ 筆者

この文章で述べられている内容と合っているものを、次のア〜エから一つ選び、その記号を書け。

ア 後鳥羽院は、家来に光物を射落とすように命じたが、ある夜、光物は家来の頭上を通過し山の向こうに消え去った。

イ 西面や北面の武士たちは、光物の正体を見破り手柄をたてようとしたが、ある夜、かけかたが光物を射落とす。

ウ かけかたの息子は、光物を見ようと御堂にいたところ、ある夜、光物が飛んできて池に飛び込むところを見た。

エ かけかたは、光物を捕らえようと池の中の島で見張っていると、ある夜、光物が襲ってきたので刀で切り落とした。

国語 抽出答案による正答率等

問 題		正 答	正答率	誤答率	無答率	
一	(一)	1	もうら	83.8	10.9	5.3
		2	ごくい	92.4	7.6	0
		3	まかな	38.9	53.1	8.0
	(二)	1	提供	56.2	29.5	14.3
		2	就航	2.2	67.0	30.8
		3	冷	83.2	8.6	8.2
	(三)	エ	81.1	18.9	0	
	(四)	順風満帆	45.3	42.0	12.7	
	(五)	ア	81.1	18.7	0.2	
	(六)	1	エ	50.6	49.4	0
		2	連用形	37.5	51.2	11.3
		3	イ	80.1	19.9	0
		4	磨いている	69.9	24.8	5.3
	二	(一)	ウ	75.4	24.4	0.2
(二)		ごく当たり前のこととして、自分の中では意味を成さなくなってしまう	34.0	47.5	18.5	
(三)		ア	39.1	60.9	0	
(四)		(例) 自分が見失っていたものに気づき、その貴重さを感じて、今の自分を振り返る	2.3	62.5	19.0	
部分点 16.2						
三	(例)	物のやりとりに関して、人に物をもらうと苦しむことが日本人の特色なので、他人に物を贈る人が、相手が苦しむことを思いやり、それをやわらげようとするから。	3.5	67.2	25.2	
	部分点 4.1					
四	(一)	みあらわして	71.5	26.9	1.6	
	(二)	むささび	64.5	32.8	2.7	
	(三)	ウ	72.1	27.3	0.6	
	(四)	イ	70.3	29.3	0.4	

社会

1 出題のねらい

地理、歴史、公民の3分野から均等に出題し、基礎的・基本的事項の知識・理解をみるとともに、資料などに基づいて社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断する力をみるものとした。

- (1) 地理的分野については、地理的事象を地図や資料との関係において出題し、地図の読図、世界と日本の地域構成、資源や産業から見た地域的特色などについて問うものとした。
- (2) 歴史的分野については、歴史的事象を年表や資料との関係において出題し、各時代の特色と移り変わり、我が国と世界の歴史上の関連などについて問うものとした。
- (3) 公民的分野については、現代の社会的事象を資料との関係において出題し、個人と社会生活、私たちの生活と経済、国民生活と福祉、民主政治と政治参加などについて問うものとした。

2 結果の概要

(1) 平均点(50点満点)の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
平均点	24.7	28.9	27.4	28.4	29.6

(2) 問題数の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
地理的分野	8	8	8	8	8
歴史的分野	9	9	10	9	9
公民的分野	9	8	8	8	8

(3) 正答率の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
地理的分野	55.2	62.0	65.5	63.4	68.8
歴史的分野	44.6	54.2	48.9	51.3	44.7
公民的分野	47.3	55.6	52.8	56.3	66.7

3 結果の分析

(1) 分野別の正答率は、地理的分野は 55.2%，歴史的分野は 44.6%，公民的分野は 47.3% で、すべての分野で昨年より下がっている。記述問題での誤答率・無答率が高く、まだ理解が十分ではない。

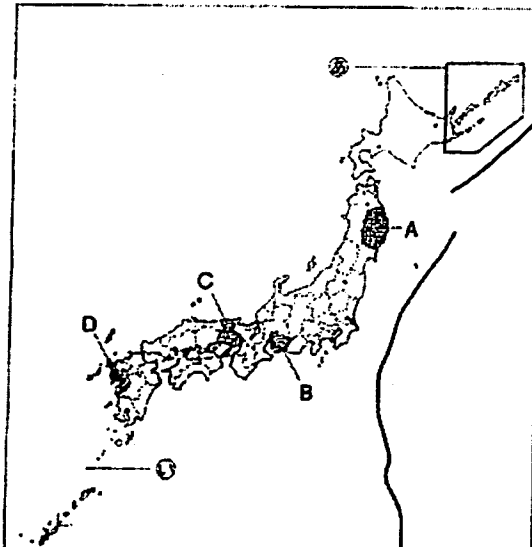
(2) 地理的分野では、正答率が[1]の3が 22.7%，[4]の1が 35.9%と低く、基本的な知識の定着や地図から地理的事象を読み取り、思考し、判断する力が十分とは言えない。歴史的分野では、正答率が[2]の1の(2)が 16.2%，[6]の2が 24.8%と低く、基本的な知識の定着や歴史的事項を大きな流れの中でとらえることが十分ではない。公民的分野では、正答率が[3]の3が 10.4%，[5]の1の(2)が 7.6%と低く、基本的な知識や理解が十分ではない。

(3) 地理的分野では、地球儀や地図帳を活用して日本及び世界の地域構成や自然環境を大観する学習や、既習の知識を生かして地図から地理的事象を読み解く学習を取り入れ、地理的見方・考え方ができるようにしたい。歴史的分野では、確実な知識の定着と、我が国の歴史を大きな流れの中でとらえ、各時代の社会の様子や特色が理解できるようにしたい。公民的分野では、身近な社会的事象に興味・関心をもち、既習の知識と現代社会を構成する諸事象とを関連付けながら正確に理解できるようにしたい。

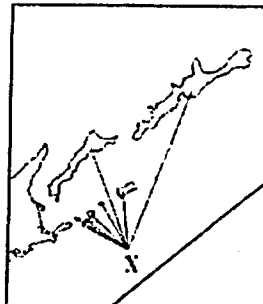
また、分野を問わず、基礎的・基本的な知識を確実に身に付け、それをもとにして思考力や判断力を養い、適切に表現できるようにしたい。

1 次の略地図と資料I・IIとを見て、下の1~4の間に答えなさい。

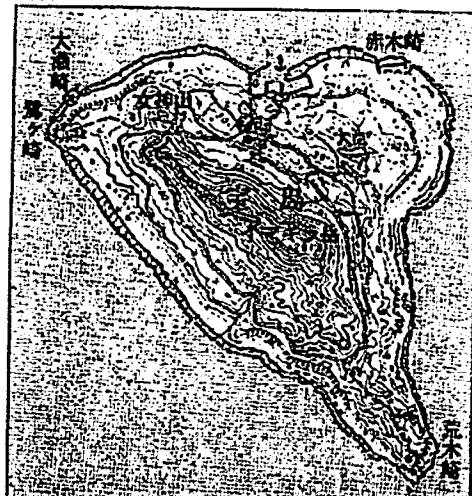
略地図



資料I



資料II



(国土院2万5千分の1の地形図「北島」(平成5年発行)による)

- 資料Iは、略地図中の□で示した①の部分拡大したものである。資料中のXは、現在、ロシアに返還を求めている日本固有の領土のうち的主要な島々を示している。この日本固有の領土を何とというか、書け。
- 【選択問題】略地図中の●で示したA~Dの県から一つだけ選択し、その記号を書き、次に、選択した県に関することがらを、次のア~エから一つ選び、その記号を書け。
 - ア 稲作や畜産業が盛んで、南部には鉄器などの伝統産業がみられる。太平洋に接する南東部の海岸には、リアス式海岸がみられる。
 - イ 入りくんだ海岸線を持ち、天然の良港に恵まれている。諫早湾には、干拓事業にともなう大規模な堤防がつけられている。グラバー園やオランダ坂などの観光地も多い。
 - ウ 畜産業に力を入れ、とくにブランド牛肉の生産は有名である。北部は日本海と接し、中央部を山地が東西に走る。南部は大工業地帯の一地域として鉄鋼業が盛んである。
 - エ 農業出荷額は全国上位に位置し、自動車を中心とした製造業が盛んである。ラムサール条約に登録された蘆原干潟がある。
- 略地図中に示した——には、水深6000m以上の細長くくぼんだ海底地形が続いており、最も深いところでは水深8000mを超えている。このような海底地形を何とというか、書け。
- 略地図中の②は、鹿児島県の宝島を示している。資料IIは、その島の地形図である。この地形図から読みとれることを述べた文として誤っているものを、次のア~エから一つ選び、その記号を書け。
 - ア 南端の「瓦木崎」には灯台があるが、西端の「鷲ヶ崎」には灯台はない。
 - イ この島の集落には郵便局があり、集落から北の海岸には人工的に整備された港がある。
 - ウ 「イマキラ岳」のふもと北斜面には畑がみられ、集落から「大池」にかけては水田がみられる。
 - エ 「イマキラ岳」の高さ291.9mのところには城跡がみられるが、「女神山」の高さ130mのところには城跡はみられない。

2 ゆり子さんは、高知県に関係のある19世紀以降の歴史上の人物について調べてカードを作成した。次のカードA~Cは、その中の3枚である。このカードを見て、下の1~4の間に答えなさい。

カード

A	坂本龍馬	B	板垣退助	C	吉田茂
	1866年に成立した①薩長同盟のために奔走した。また、新しい国家の体制を示した「船中八策」は、後の②徳川慶喜の政権返上につながったとされる。		国民が政治に参加できる憲を開くべきだと主張して、1874年、民撰(民選)議院設立建白書を政府に提出し、③自由民権運動を推進した。		第二次世界大戦後に内閣総理大臣となり、④1951年にアメリカで行われた会議に参加し、日本の独立の回復などを目的として48か国と条約を結んだ。

- カードAの下線部①の薩長同盟に関して、次の(1)・(2)の間に答えよ。
 - (1) この同盟が成立した1866年以前に世界で起こったできごととして正しいものを、次のア~エから一つ選び、その記号を書け。
 - ア 辛亥革命が起こる
 - イ アヘン戦争が始まる
 - ウ 五・四運動が起こる
 - エ ニューディール政策が行われる
 - (2) この同盟を結んだ薩摩藩の代表の西郷隆盛は、倒幕後、新政府に加わった。西郷隆盛の加わった新政府内には、国交を開かない朝鮮に対し、最終的には武力を用いても日本と国交を結ばせようとする主張がおこった。この主張を何とというか、書け。
- カードAの下線部②の徳川慶喜の政権返上について、1867年に幕府が朝廷に政権を返上したことを何とというか、書け。
- カードBの下線部③の自由民権運動に関して、板垣退助らがこの運動の推進を目的として高知県に設立した団体を何とというか、次のア~エから一つ選び、その記号を書け。
 - ア 国会期成同盟
 - イ 立憲改進黨
 - ウ 立志社
 - エ 全国水平社
- カードCの下線部④について、この条約の名称を書け。

3 はるきさんは、我が国の財政のはたらきについて学習し、その内容をノートにまとめた。次の資料は、そのノートの一部である。この資料を見て、下の1～4の問いに答えなさい。

資料

[我が国の財政のはたらき]	
財政とは何か	政府が収入を得て行う経済活動のこと。
財政の収入と支出	①国民が義務として納める税金と、②国民から借りたお金を主な収入として予算を編成し、公共的な事業に支出する。
財政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業で供給できない Y の整備やサービスの提供をする。 財政政策を行うことで景気を調整する。 ③所得の多い人と少ない人の経済的な格差を是正する。

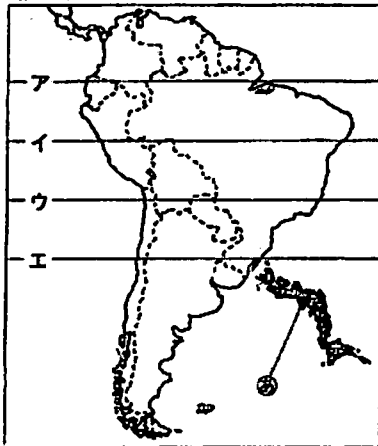
2010年度の我が国の予算における財政支出の項目別割合

(財務省日本の財政関係資料による)

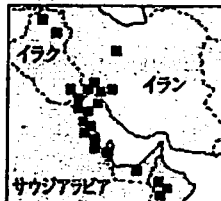
- 資料中の下線部①の国民が義務として納める税金は、その納税方法の違いによって、直接税と間接税に分けることができる。直接税に分類されるものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。
 ア 法人税 イ 消費税 ウ たばこ税 エ 関税
- 資料中の下線部②の国民から借りたお金について、その返済額が我が国の財政支出に占める割合を調べるために、はるきさんは、2010年度の我が国の予算における財政支出の項目別割合を円グラフにまとめた。はるきさんがまとめた資料中の **X** には、国民から借りたお金を返済するための支出項目が入る。**X** に当てはまることばを書け。
- 資料中の **Y** には、道路や港湾など政府の資金で建設された公共施設の総称を表すことばが入る。**Y** に当てはまることばを書け。
- 資料中の下線部③の所得の多い人と少ない人の経済的な格差を是正することを目的に行われていることとして正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。
 ア 紙幣を発行する。 イ 公定歩合を上げる。
 ウ 公共料金の金額を上げる。 エ 累進課税制度で税を徴収する。

4 次の略地図A・Bと資料I～IIIとを見て、下の1～4の問いに答えなさい。

略地図A



略地図B



資料I

国名	産出量(万t)
サウジアラビア	44919
ロシア連邦	44609
アメリカ合衆国	26801
イラン	19570

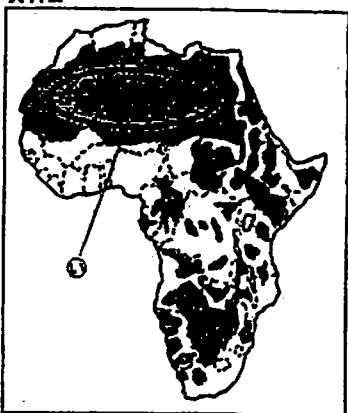
(データブック オブ・ザ・ワールド2008年版による)

資料II

国名	外国人労働力人口(千人)			全労働力人口に占める外国人労働力人口の割合(%)		
	1995年	2000年	2005年	1995年	2000年	2005年
オランダ	282	300	288	4.0	3.9	3.4
スペイン	139	455	1689	0.8	2.5	8.1
デンマーク	84	97	109	3.0	3.4	4.0
ベルギー	364	388	435	8.3	8.6	9.1

(世界労働学会2007/08年版による)

資料III

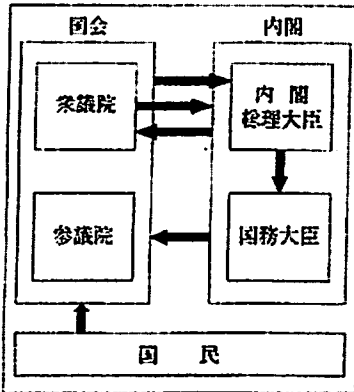


- 略地図A中の①で示した②は、日本を地球の正対側に置いたときの位置である。略地図A中のア～エは、緯度10度の間隔で引かれた緯線であり、そのうちの二つは赤道である。赤道を示しているものを、ア～エから一つ選び、その記号を書け。
- 略地図Bは西アジアの一部であり、地図中の■印は、ある地下資源の産出地を示している。資料Iは、それと同じ資源の2004年の国別産出量の上位4か国を表したものである。この地下資源を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。
 ア 原油 イ 石炭 ウ 鉄鉱石 エ ポーキサイト
- 資料IIは、1995年から2005年までの外国人労働力人口と、全労働力人口に占める外国人労働力人口の割合の推移とを5年ごとに表したものである。この表から読みとれることについて述べた次のX・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書け。
 X: 4か国のうち、いずれの年も外国人労働力人口が最も少ない国はデンマークであるが、デンマークの全労働力人口に占める外国人労働力人口の割合は、いずれの年も最も高くなっている。
 Y: 4か国のうち、1995年の全労働力人口に占める外国人労働力人口の割合はスペインが最も低いが、1995年の外国人労働力人口と2005年の外国人労働力人口とを比較すると、その増加率はスペインが最も高くなっている。
 ア X-正 Y-正 イ X-正 Y-誤 ウ X-誤 Y-正 エ X-誤 Y-誤
- 資料III中に示した③は、アフリカ大陸の中で人口密度が1人/km²未満の地域を示している。このうち、④で示した⑤の地域の人口密度が1人/km²未満となっている主な理由を、「気候」と「水」の二つの語句を使って、簡潔に書け。

[うらにつづく]

5 次の資料Ⅰ～Ⅳを見て、下の1～4の問いに答えなさい。

資料Ⅰ



資料Ⅱ

著作権保護のため掲載していません

資料Ⅳ

	2000年		2004年		2008年	
	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額
成田	9833	9412	10668	10304	11209	11367
東京	4492	4439	4396	5544	5369	8009
羽田	177	124	4	39	70	100
横浜	6109	2853	6886	2980	8696	4299
名古屋	6432	2487	8193	3038	11083	5277
大阪	1600	2428	2034	3048	3490	4131
関西	3424	1944	4255	2386	4634	2820
神戸	4109	2023	4872	2234	6108	3073

(単位 10億円) (総務省 日本統計年報による)

資料Ⅲ

一人親と子の世帯			その他の世帯	
夫婦と子の世帯	夫婦のみの世帯	8.4%	単独世帯	12.7%
29.9%	19.6%		29.5%	

(日本国勢調査2009/10年報による)

1 資料Ⅰは、我が国の議院内閣制のしくみについて表したものであり、資料中の→印は、それぞれ国民と国会、国会と内閣、内閣総理大臣と国務大臣との関係を示している。このことについて、次の(1)・(2)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、資料Ⅰ中の内閣総理大臣と国務大臣について述べたものである。文中の a・b に当てはまることばの組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書け。

内閣総理大臣は、国務大臣を a する。ただし、その b は、国会議員の中から選ばなければならない。

ア a - 指名 b - 過半数 イ a - 指名 b - 3分の2 ウ a - 任命 b - 過半数 エ a - 任命 b - 3分の2

(2) 議院内閣制とはどのようなしくみの制度か、「信任」と「責任」の二つの語句を使って簡潔に書け。

2 資料Ⅱは、刑事裁判の法廷のようすを再現した写真である。我が国では、犯罪の捜査や裁判を行うにあたって、被疑者や被告人の権利を保障するための制度やきまりがつけられている。これらの制度やきまりに関して述べた文として誤っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 裁判を慎重に行い、裁判の誤りをなくし、人権を守るために裁判は通常3回行うことができる。
- イ 警察官は、裁判官が出す逮捕令状がなければ、現行犯の場合を除いて被疑者を逮捕できない。
- ウ 被疑者が自白を強要されないようにするため、拷問で得られた自白は、裁判の証拠とすることはできない。
- エ 被告人は、逮捕から起訴までの拘束された期間について、いかなる場合にも国に賠償を請求することができる。

3 資料Ⅲは、2005年の我が国の家族類型別世帯数の割合を表したものである。この資料中の夫婦と子の世帯、夫婦のみの世帯、一人親と子の世帯を総称して何というか、書け。

4 資料Ⅳは、2000年から2008年までの我が国の主要港別輸出入額の推移を4年ごとに表したものである。この資料から読みとれることを述べた文として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 「羽田」の2000年の輸出入額は最も少ないが、2000年から2008年にかけての輸出入額は伸び続けている。
- イ 輸出額は、いずれの年も「成田」が最も多いが、2000年と2008年との差額をみると「名古屋」が最も大きくなっている。
- ウ 近畿地方の港では、2004年と2008年を比べると輸出額、輸入額とも「関西」が最も増えている。
- エ 関東地方の港はすべて、いずれの年も輸出額より輸入額が多くなっている。

6 次の略年表を見て、下の1～4の問いに答えなさい。

略年表

西暦	できごと	西暦	できごと
239年	卑弥呼が魏に使いを送る	1274年	元軍が襲来する
645年	大化の改新が始まる	1281年	元軍が再度襲来する
710年	平城京に都がうつる	1467年	応仁の乱が起こる
1232年	御成敗式目を定める	1590年	豊臣秀吉が全国を統一する

- 1 年表中のAの時期に我が国で起こったできごととして正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。
ア 大宝律令を定める イ 大和政権(王権)ができる ウ 倭の奴国王が漢に使いを送る エ 壬申の乱が起こる
- 2 年表中のBの時期に起こった次のア～エのできごとを、年代の古いものから順に並べ、その記号を書け。
ア 遣唐使を停止する イ 畠山永年私財法を定める ウ 承久の乱が起こる エ 平将門の乱が起こる
- 3 次の文は、年表中の下線部①の元寇の後の社会で起こったできごとについて述べたものである。文中の X に当てはまることばを、下のア～エから一つ選び、その記号を書け。

元寇を境に鎌倉幕府の政治は行きづまり、近畿地方を中心に X と呼ばれる幕府や荘園領主に従わない者たちが現れてきた。

ア 屯田兵 イ 倭寇 ウ 五人組 エ 悪党

4 年表中の下線部②の豊臣秀吉は、一揆の発生を防ぐことや兵農分離を進めるための法令を1588年に出して、農民などから武器を取り上げる政策を行った。この政策を何というか、書け。

社 会 抽出答案による正答率等

問 題		正 答	正答率	誤答率	無答率
1	1	北方領土	93.2	5.3	1.5
	2	A ア B エ C ウ D イ	77.9	21.9	0.2
	3	海溝	22.7	58.6	18.7
	4	エ	38.5	61.1	0.4
2	1	(1) イ	50.4	49.2	0.4
		(2) 征韓論	16.2	45.7	38.1
	2	大政奉還	52.1	30.7	17.2
	3	ウ	42.4	56.0	1.6
4	サンフランシスコ平和条約	38.1	54.9	7.0	
3	1	ア	42.0	57.6	0.4
	2	国債費	34.2	49.6	16.2
	3	社会資本	10.4	73.8	15.8
	4	エ	74.0	25.4	0.6
4	1	ア	35.9	62.9	1.2
	2	ア	67.8	31.8	0.4
	3	ウ	58.2	41.0	0.8
	4	(例) 乾燥した気候で水が得にくいから。	47.3	43.3	9.4
5	1	(1) ウ	41.0	58.6	0.4
		(2) (例) 国会の信任に基づいて内閣が成立し、内閣は国会に対して責任を負う制度。	7.6	69.7	22.7
	2	エ	67.2	32.4	0.4
	3	核家族	78.0	15.4	6.6
	4	イ	71.5	28.1	0.4
6	1	イ	48.8	50.8	0.4
	2	イ→ア→エ→ウ	24.8	75.0	0.2
	3	エ	45.9	53.5	0.6
	4	刀狩	82.8	11.9	5.3

数学

1 出題のねらい

「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の4領域から基礎的・基本的事項を中心に出題した。

- (1) 「数と式」では、基礎的な概念や原理・法則についての理解の程度、数量の関係を簡潔に表現し処理する力をみるものとした。
- (2) 「図形」では、平面図形及び空間図形の基本的な性質や構成についての理解の程度、見通しをもって論理的に考察し処理する力、推論の過程を的確に表現する力をみるものとした。
- (3) 「関数」では、関数の変化や対応の特徴をとらえ表現し処理する力、関数と図形を関連付けて考察する力をみるものとした。
- (4) 「資料の活用」では、確率についての理解や、標本調査の必要性和意味の理解の程度をみるものとした。

2 結果の概要

(1) 平均点(50点満点)の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
平均点	18.1	25.7	21.4	22.4	19.4

(2) 問題数の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
数と式	8	10	7	8	7
図 形	5	7	6	4	6
数量関係		7	7	7	8
関 数	8				
資料の活用	2				

(3) 正答率の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
数と式	67.3	67.6 (50.1)	73.7 (63.4)	70.4 (63.9)	74.4 (67.0)
図 形	13.0	36.9 (30.2)	33.1 (37.2)	26.4 (28.5)	17.7 (30.5)
数量関係		39.1 (51.7)	28.3 (37.8)	32.8 (40.2)	25.6 (38.7)
関 数	21.5				
資料の活用	51.1				

(注) ()内は、11月に県内公立高校の1年生を対象として国・数・英で実施した学習支援テストの正答率である。

3 結果の分析

(1) 平均点は、18.1点と昨年度に比べて7.6点低くなった。「数と式」の正答率は67.3%、「資料の活用」の正答率は51.1%と概ね理解できている。しかし、「図形」の正答率は13.0%、「関数」は21.5%であり、十分に理解できているとは言えない。また、0点は減ったが、基本的な計算力が身に付いていれば得点できる10点を下回る者が841名と昨年度に比べ410名増えた。

(2) ②の(2)は正答率が23.6%と低く、解の公式を用いて二次方程式を正しく解くことが十分に身に付いていない。関数の変化や対応の特徴をとらえ、表現し処理することが十分でないため、関数の基本問題である②の(3)の正答率は10.3%と低い。また、関数と図形を関連付けて考察する問題④、⑤の正答率も低い。

⑥の(1)は図形の証明問題であり、無答率が42.4%と高い。証明問題に対してあきらめずに粘り強く取り組む姿勢に引き続き課題がある。

(3) 計算力を付けるために日頃から繰り返し問題を解き、活用できるようにしたい。また、言葉や数、式、図、表、グラフなどの意味や相互の関連を理解し、筋道を立てて体系的に考えられるようにしたい。そのために、考え方や計算の過程を書くことを習慣付けたい。

学習習慣の定着と基礎的・基本的な数学の理解のために、高知県中学校単元テストを有効に活用したい。

1 次の(1)～(6)の計算をしなさい。

(1) $6 - 5 - 1$

(2) $42 \div (-6)$

(3) $\frac{x-y}{4} + \frac{x+3y}{2}$

(4) $(x+2)^2 - (x-1)(x-3)$

(5) $\frac{6}{\sqrt{3}} - \sqrt{75}$

(6) $8^2 \times 7.89 + 6^2 \times 7.89$

2 次の(1)～(8)の問いに答えなさい。

(1) 1本 a 円の鉛筆5本と1本 b 円のボールペン3本を買ったときの代金の合計を、 a 、 b を使った式で表せ。

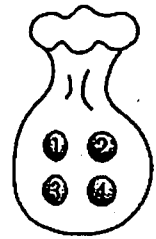
(2) 2次方程式 $x^2 + 2x - 4 = 0$ を解け。

(3) 直線 $y = x + b$ は、2点 $A(2, 1)$ 、 $B(-1, 4)$ を結んだ線分 AB 上の点を通る。このとき、定数 b のとる値の範囲を求めよ。

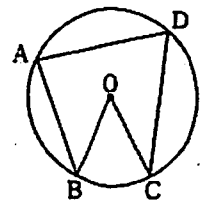
(4) y は x に反比例し、そのグラフが点 $(-2, -3)$ を通るとき、 y を x の式で表せ。

(5) 右の図のように、1、2、3、4の数字が1つずつ書かれた4個の玉が入った袋がある。

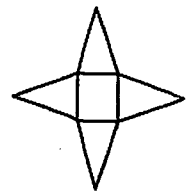
この袋の中から玉を1個取り出し、玉に書かれた数字を確認してもとに戻す。これを2回
行い、1回目に確認した数字を十の位とし、2回目に確認した数字を一の位として2けたの
整数をつくる。このとき、その整数が3の倍数である確率を求めよ。ただし、この袋から
どの玉が取り出されることも同様に確からしいものとする。



(6) 右の図のように、点 A 、 B 、 C 、 D は円 O の周上にある。 $\angle BOC = 56^\circ$ 、 $\angle ADC = 70^\circ$
であるとき、 $\angle ABO$ の大きさは何度か。



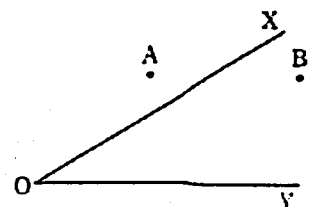
(7) 右の図のように、底面の正方形の1辺が4cm、側面の二等辺三角形の等しい辺がいずれも
6cmの正四角すいの展開図がある。この正四角すいの体積を求めよ。



(8) ある集団のもつ傾向や性質を調べるときには、調査する内容の違いによって、全数調査または標本調査を行う。標本
調査を行うことが最も適しているものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書け。

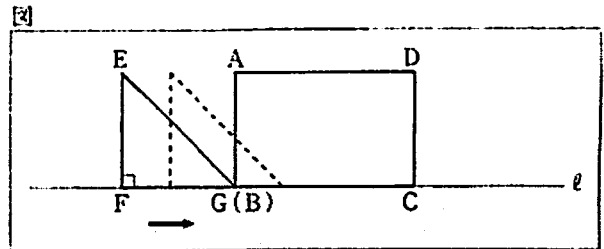
- | | |
|--------|--------------------|
| ア 国勢調査 | イ 修学旅行に参加する生徒の健康調査 |
| ウ 世論調査 | エ ある中学校で行う進路希望の調査 |

3 右の図のように、2点 A 、 B と半直線 OX 、 OY がある。2点 A 、 B から等しい
距離にあって、半直線 OX 、 OY からの距離が等しい点 P を、定規とコンパスを使い、
作図によって求めなさい。ただし、定規は直線をひくときに使い、長さを測ったり角度
を利用したりしてはいけません。なお、作図に使った線は消さずに残しておくこと。



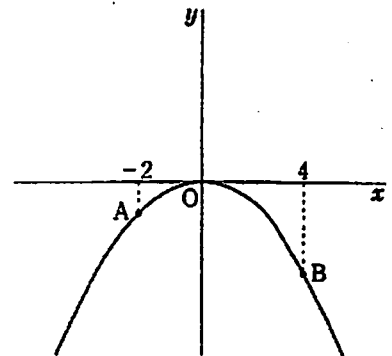
4 下の図のように、 $AB=4\text{cm}$ 、 $BC=6\text{cm}$ の長方形 $ABCD$ と、 $EF=4\text{cm}$ 、 $\angle EFG=90^\circ$ の直角二等辺三角形 EFG がある。辺 BC と辺 FG は直線 ℓ 上にあり、2つの頂点 B と G は重なっている。いま、この状態から、長方形 $ABCD$ を固定し、直角二等辺三角形 EFG を直線 ℓ に沿って、頂点 C を通過するように、矢印の向きに毎秒 1cm の速さで動かす。直角二等辺三角形 EFG を動かしはじめてから x 秒後に、長方形 $ABCD$ と直角二等辺三角形 EFG が重なる部分の面積を $y\text{cm}^2$ とする。このとき、次の(1)～(3)の間に答えなさい。ただし、長方形 $ABCD$ と直角二等辺三角形 EFG と直線 ℓ は同じ平面上にあるものとし、 $x=0$ のとき、 $y=0$ とする。

- (1) 頂点 F が辺 BC 上にあるときの、 x の変域を求めよ。
- (2) $x=3$ のときの y の値を求めよ。
- (3) $y=\frac{15}{2}$ となる x の値をすべて求めよ。



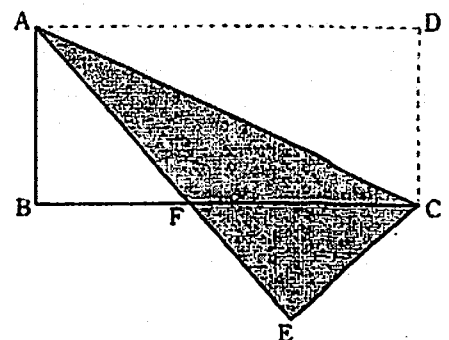
5 下の図は、関数 $y=-\frac{1}{4}x^2$ のグラフで、点 A 、 B はこのグラフ上にある。点 A 、 B の x 座標はそれぞれ -2 、 4 である。このとき、次の(1)～(3)の間に答えなさい。

- (1) 2点 A 、 B を通る直線の式を求めよ。
- (2) 三角形 OAB の面積を求めよ。
- (3) 直線 AB と y 軸との交点を C とする。関数 $y=-\frac{1}{4}x^2$ のグラフ上に点 P をとり、三角形 $OC P$ の面積が三角形 OAB の面積の $\frac{1}{5}$ 倍となるようにしたい。このときの点 P の x 座標をすべて求めよ。



6 下の図は、 $AB < BC$ である長方形 $ABCD$ を、対角線 AC を折り目として折り返し、頂点 D が移った点を E 、辺 BC と線分 AE の交点を F としたものである。このとき、次の(1)・(2)の間に答えなさい。

- (1) 三角形 AFC は二等辺三角形であることを証明せよ。
- (2) $AB=4\text{cm}$ 、 $BC=8\text{cm}$ のとき、点 B と点 E を結んでできる三角形 BEF の面積を求めよ。



数学 抽出答案による正答率等

問題	正	答	正答率	誤答率	無答率
1	(1)	-3	93.6	6.4	0
	(2)	-7	95.3	4.1	0.6
	(3)	$\frac{3x+5y}{4}$	67.8	29.1	3.1
	(4)	$8x+1$	59.6	36.7	3.7
	(5)	$-3\sqrt{3}$	68.8	21.6	9.6
	(6)	789	45.3	41.0	13.7
2	(1)	$(5a+3b)$ 円	84.6	10.0	5.4
	(2)	$x = -1 \pm \sqrt{5}$	23.6	50.8	25.6
	(3)	$-1 \leq b \leq 5$	10.3	59.8	29.9
	(4)	$y = \frac{6}{x}$	59.2	25.0	15.8
	(5)	$\frac{5}{16}$	47.3	44.7	8.0
	(6)	48 度	15.2	64.1	20.7
	(7)	$\frac{32}{3} \sqrt{7} \text{ cm}^3$	13.1	72.9	14.0
	(8)	ウ	54.9	43.3	1.8
3	(例)		33.0	41.0	24.8
		部分点 1.2			
4	(1)	$4 \leq x \leq 10$	16.2	48.8	35.0
	(2)	$y = \frac{9}{2}$	21.5	45.3	33.2
	(3)	$x = \sqrt{15}, 7$	1.2	34.3	64.5
5	(1)	$y = -\frac{1}{2}x - 2$	28.3	45.9	25.8
	(2)	6	27.2	35.9	36.9
	(3)	$\frac{6}{5}, -\frac{6}{5}$	8.4	21.9	69.7
6	(1)	<p>【証明】(例) 対角線ACで折り返したものであるから、 対応する角は等しいので $\angle FAC = \angle DAC$.....① 平行線の錯角は等しいので $\angle FCA = \angle DAC$.....② ①、②より $\angle FAC = \angle FCA$.....③ ③より、三角形AFCは2つの角が等しい。 したがって、三角形AFCは二等辺三角形である。</p>	3.5	48.8	42.4
		部分点 5.3			
	(2)	$\frac{18}{5} \text{ cm}^3$	0	47.1	52.9

理科

1 出題のねらい

第1分野、第2分野から均等に出題し、自然の事物・現象について、基礎的・基本的事項の知識・理解をみるとともに、観察・実験や野外観察などを通して科学的に考察する力をみるものとした。

- (1) 第1分野については、運動の規則性、力と圧力、物質の成り立ち、物質のすがたなどについて問うものとした。
- (2) 第2分野については、動物の体のつくりと働き、生物と細胞、火山と地震、天気の変化などについて問うものとした。

2 結果の概要

(1) 平均点(50点満点)の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
平均点	29.6	23.3	26.5	25.1	26.5

(2) 問題数の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
第1分野	1 3	1 3	1 3	1 3	1 3
第2分野	1 3	1 3	1 3	1 4	1 3

(3) 正答率の推移

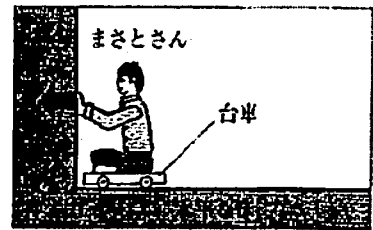
年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
第1分野	58.4	47.2	46.5	47.1	49.0
第2分野	59.5	44.4	59.1	53.8	56.9

3 結果の分析

- (1) 平均点は 29.6 点とこの 5 年間で最も高かった。第 1 分野の正答率は 58.4%，第 2 分野は 59.5%と昨年よりもそれぞれ 11.2 ポイント，15.1 ポイント上がり，両分野ともに概ね良好であった。しかし，基本的な事項において不十分な点も見られる。
- (2) ③の 2 は 31.3%，④の 2 は 24.8%と正答率が低い。このことから，自然現象の仕組みや，観察，実験の操作の意味が十分に理解できていない。⑤の 1 は 80.3%と正答率が高いが，⑤の 3 は 48.2%と正答率が低い。このことから，グラフを読み取ることはできているが，読み取ったデータを使った簡単な比例計算が十分ではない。⑤の 5 は正答率が 4.1%と最も低く，与えられた条件の中で，既習内容を活用して科学的に考察する力が十分ではない。正答率が比較的高い問題であっても，用語の意味を正確に理解していないことによる誤答の例が多くみられた。
- (3) 目的意識をもって観察，実験を行い，その結果をまとめたり発表したりして，科学的な見方や考え方を養いたい。また，既習内容をもとに生徒が自ら考え，文章でわかりやすく表現することや，必要なデータを法則に当てはめて計算する場面を多くしたい。
- 今後も，自然の事物・現象についての基礎的・基本的事項をより確実に理解したい。

1 次の1～4の間に答えなさい。

1 まさとさんのクラスでは、理科の授業で、物体の運動について調べる実験を行った。図のように、水平な床のうえに壁のそばで静止した台車があり、その台車にまさとさんが乗っている。まさとさんが壁を押すと台車はまさとさんに乗せたまま壁と反対の向きに動いた。このことについて、次の(1)・(2)の間に答えよ。ただし、空気の抵抗、台車と床との間にはたらく摩擦は考えないものとする。



(1) 台車は、外から力を加えないかぎり、静止しているときは静止し続けようとし、運動しているときはいつまでもその運動を続けようとする。このような物体のもつ性質を何というか、書け。

(2) まさとさんが壁を押したとき、まさとさんが乗った台車と壁にはどのような力がはたらくか、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

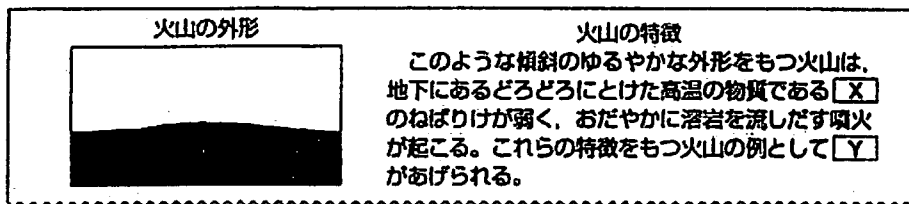
ア まさとさんが乗った台車には、まさとさんが押した力と同じ向きに大きさが等しい力がはたらくが、壁には力がはたらかない。

イ まさとさんが乗った台車には、まさとさんが押した力と反対の向きに大きさが等しい力がはたらくが、壁には力がはたらかない。

ウ まさとさんが乗った台車と壁の両方に、たがいに向きが反対でまさとさんが押した力と大きさが等しい力がはたらく。

エ まさとさんが乗った台車と壁の両方に、どちらもまさとさんが押した力と同じ向きで大きさが等しい力がはたらく。

2 図は、あきよさんが理科の授業で学習した火山の外形と特徴をまとめたものの一部である。このことについて、下の(1)・(2)の間に答えよ。



(1) 図中の [X] に当てはまる物質の名称を書け。

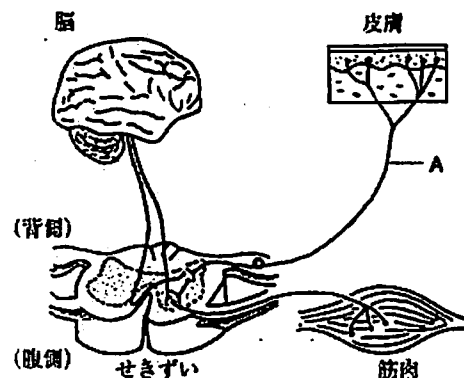
(2) 図中の [Y] に当てはまるものとして正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 桜島 イ 雲仙普賢岳 ウ 阿蘇山 エ マウナロア

3 図は、ヒトの神経系とそれにつながる皮膚と筋肉を模式的に表したものである。このことについて、次の(1)・(2)の間に答えよ。

(1) 図中のAは、せきずいと皮膚をつないでいる神経である。その神経の名称を書け。

(2) 熱いやかに踏んで手が触れてしまったときは、熱いと感じる前に手を引っこめる運動が起こる。これは、刺激による信号が脳を経由せず、無意識に起こる反応である。この反応を何というか、書け。



4 私たちの身のまわりには多くの物質が存在し、さまざまな化学変化が起こっている。このことについて、次の(1)・(2)の間に答えよ。

(1) 化学変化の例として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 固体の水酸化ナトリウムを水に加えてかき混ぜると、とけた。

イ よく磨いた鉄を放置しておくと、鉄の表面がさびた。

ウ あたためた硫酸銅の飽和水溶液を冷却すると、結晶が現れた。

エ ビーカーに入れた氷を教室に放置すると、とけて水になった。

(2) 純粋な物質は単体と化合物に分類することができる。単体に分類されるものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア H_2O イ NH_3 ウ CuO エ Cl_2

2 物質の性質を調べるために、粉末状の砂糖、食塩、小麦粉、マグネシウムのうち、1種類ずつ選んで4つの試料A、B、C、Dとし、次の実験I・IIを行った。表は、この実験の結果をまとめたものである。このことについて、下の1~4の問いに答えなさい。

実験I 図1のように、試料Aを燃焼さじに少量とり、ガスバーナーで加熱し、そのようすを観察した。試料B、C、Dについても同じ操作を行い、観察した。試料B、C、Dは燃え、Aは燃えなかった。

実験II 試料Bを再び燃焼さじに少量とり、火をつけ、図2のように集気びんに入れ、火が消えてからとり出した。その後、集気びんに石灰水を入れ、ふたをしてよく振り、石灰水の様子を観察した。試料C、Dについても同じ操作を行い、観察した。

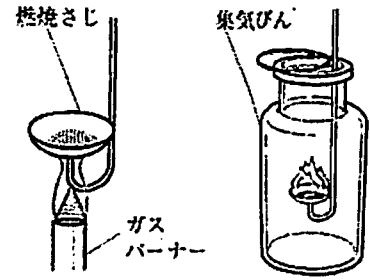


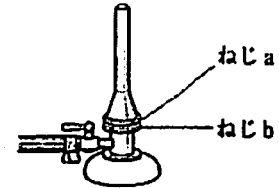
図1

図2

試料	加熱したときの様子	石灰水の様子
A	変化しなかった。	変化しなかった。
B	表面がこげ、炎をあげて燃えた。	白く濁った。
C	とけてあめ色の液体になり、炎をあげて燃えた。	白く濁った。
D	強い光を出して燃えた。	変化しなかった。

1 右の図は、この実験で用いたガスバーナーを表したものである。実験Iで、このガスバーナーに点火したところ、赤色の炎になったので、ガスの量を変えずに空気の量を調節して青色の炎にした。このときの操作として最も適切なるものを、次のア~エから一つ選び、その記号を書け。

- ア ねじaをゆるめる。 イ ねじaをしめる。
ウ ねじbをゆるめる。 エ ねじbをしめる。



2 実験IIで、試料B、Cを燃焼させたときに用いたそれぞれの集気びんの石灰水が白く濁ったのはなぜか。その理由を簡潔に書け。
3 実験I・IIの結果から、試料A、B、C、Dの物質名の組み合わせとして適切なるものを、次のア~エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 試料A-食塩 試料B-小麦粉 試料C-砂糖 試料D-マグネシウム
イ 試料A-食塩 試料B-砂糖 試料C-小麦粉 試料D-マグネシウム
ウ 試料A-マグネシウム 試料B-食塩 試料C-砂糖 試料D-小麦粉
エ 試料A-マグネシウム 試料B-小麦粉 試料C-砂糖 試料D-食塩

4 この実験で用いた物質のうち、固体の状態で電気を通すことができるものはどれか。次のア~エから一つ選び、その記号を書け。
ア 砂糖 イ 食塩 ウ 小麦粉 エ マグネシウム

3 図1は、高知県のある地点における2日間の気温の変化と風の様子を表したものである。図2は、5月24日9時の天気図である。このことについて、下の1~4の問いに答えなさい。

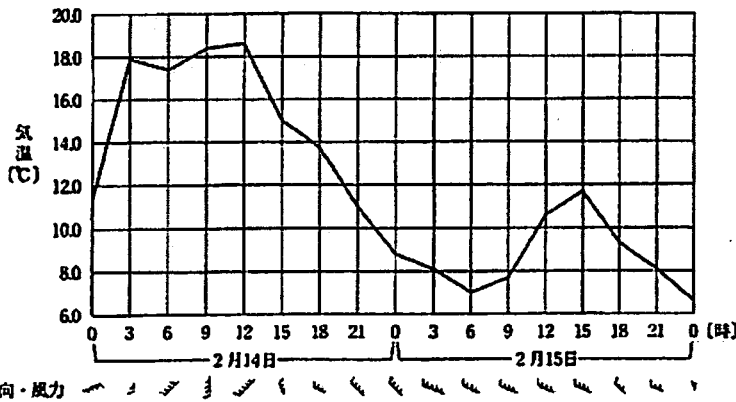


図1

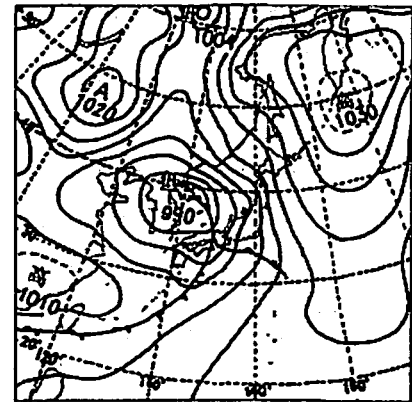


図2

1 図1から、高知県のある地点を寒冷前線が通過した時間帯がわかった。その時間帯として最も適切なるものを、次のア~エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 2月14日の6時~9時 イ 2月14日の12時~15時 ウ 2月15日の6時~9時 エ 2月15日の12時~15時

2 一般に暖気は上昇気流を生じるが、寒冷前線付近では、特に強い上昇気流を生じる。この特に強い上昇気流の生じるしくみを、「寒気」と「暖気」の2つの語を使って、簡潔に書け。

3 図2の天気図には、地図上に高気圧や低気圧、前線が表されている。寒冷前線を表すものとして正しいものを、次のア~エから一つ選び、その記号を書け。

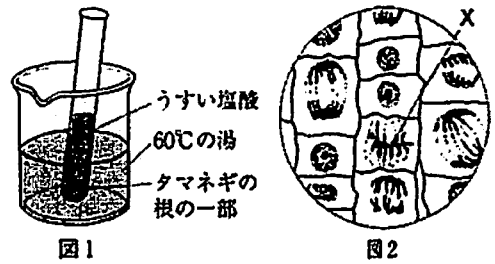
- ア イ ウ エ

4 図2中のAは、高気圧である。この高気圧の地表付近での大気の流れの様子を模式的に表すとどのようになるか。正しく表しているものを次のア~エから一つ選び、その記号を書け。

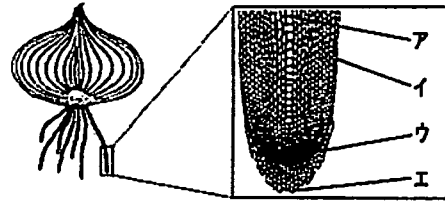


【うらにつづく】

4 体細胞分裂のようすを観察するために、タマネギの根の細胞を用いて、次の実験を行った。まず、試験管にタマネギの根の一部とうすい塩酸を入れ、図1のように60℃の湯であたためた。次に、根の一部を取り出し、水洗いしてスライドガラスにのせ、柄付き針でさき、酢酸カーミン液をかけた。数分後に、カバーガラスをかけ、ろ紙をかぶせ、カバーガラスをずらさないように其上から押して根をつぶし、プレパラートを作成した。そのプレパラートを顕微鏡で観察し、スケッチした。図2は、そのときのスケッチの一部である。このことについて、次の1~5の問いに答えなさい。



1 右の図は、タマネギとその根の断面の一部を拡大したものを表したものである。体細胞分裂のようすを観察するために最も適している部分はどれか。図中のア~エから一つ選び、その記号を書け。

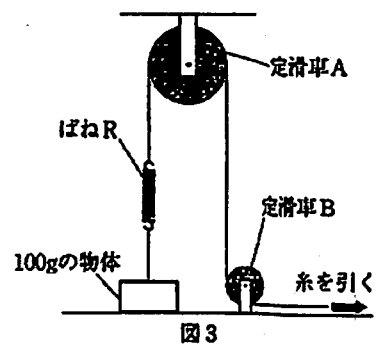
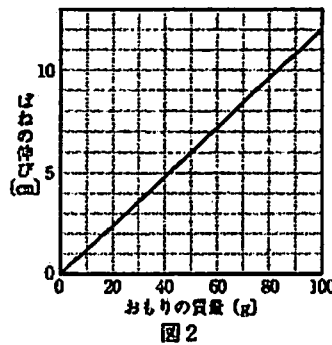
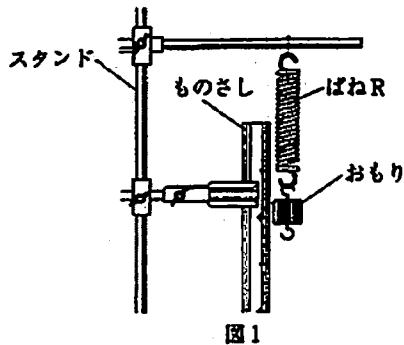


- この実験で、タマネギの根の一部をうすい塩酸に入れ、60℃の湯であたためた理由は2つある。その一つは細胞分裂を止めるためであるが、もう一つの理由は何か、簡潔に書け。
- この実験で、プレパラートを作成するときに、根を押しつぶしたのはなぜか。その理由として最も適切なものを、次のア~エから一つ選び、その記号を書け。
 ア 余分な酢酸カーミン液を取り除くため。 イ 顕微鏡の視野を広げるため。
 ウ 細胞の重なりを少なくするため。 エ 細胞を染まりやすくするため。
- この実験で、図2中のXで示した、ひも状のものが観察された。このひも状のものの名称は何か、書け。
- 細胞分裂には、この実験で観察される体細胞分裂の他に、精子や卵ができるときの特別な細胞分裂がある。この特別な細胞分裂を何というか、書け。

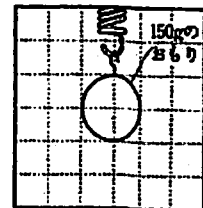
5 ばねに加える力の大きさとばねの伸びを調べるために、ばねRを用いて次の実験I・IIを行った。このことについて、下の1~5の問いに答えなさい。ただし、100gの物体にはたらく重力の大きさを1Nとし、ばねの重さは考えないものとする。

実験I 図1のように、ばねRの一方の端をスタンドに固定し、ばねRのもう一方の端におもりをつり下げ、おもりが静止したのち、ばねの伸びを測定した。図2は、このとき得られた結果をもとに、横軸におもりの質量、縦軸にばねの伸びを表したグラフである。

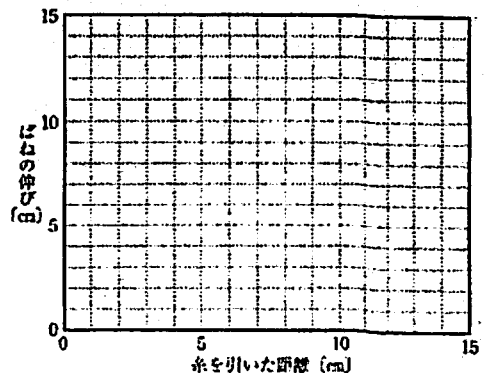
実験II 図3のように、100gの物体に糸をつなぎ、その糸をばねRの一方の端につないだ。次に、ばねRのもう一方の端に糸をつけ、定滑車Aにかけ、さらに定滑車Bにかけて、その糸を静かに引いた。



- 実験Iの結果から、ばねRに50gのおもりをつり下げたとき、ばねの伸びは何cmか。
- 実験Iで、ばねRに150gのおもりをつり下げ、おもりが静止したとき、おもりにはたらく重力の作用点を・で、力の向きと大きさを矢印で図中に加え。ただし、図の方眼の1目盛りの長さを1Nとする。



- 実験Iの結果から、ばねRを9cm伸ばすために必要な力は何Nか。
- 実験Iの結果からわかる、ばねRに加える力とばねの伸びとの関係を簡潔に書け。
- 実験IIにおいて、糸を引き始めると同時にばねRは伸び始めた。糸を引き始めてから15cm引くまでの間について、糸を引いた距離とばねの伸びとの関係を表すグラフを実線でかけ。ただし、糸の重さや糸の伸び、滑車と糸の摩擦は考えないものとする。



理科 抽出答案による正答率等

問題		正答	正答率	誤答率	無答率
1	1	(1) 慣性	57.6	32.8	9.6
		(2) ウ	63.1	36.9	0
	2	(1) マグマ	87.3	10.7	2.0
		(2) エ	34.8	65.2	0
	3	(1) 感覚神経	72.8	21.3	5.9
		(2) 反射	80.7	12.7	6.6
	4	(1) イ	60.3	39.5	0.2
		(2) エ	53.7	46.3	0
2	1	ア	61.3	38.5	0.2
	2	(例) 二酸化炭素が発生したため。	84.6	9.4	6.0
	3	ア	68.9	30.3	0.8
	4	エ	78.1	21.3	0.6
3	1	イ	61.9	37.9	0.2
	2	(例) 寒気が暖気の下にもぐりこむため。	31.2	51.2	17.6
	3	イ	86.5	13.3	0.2
	4	ア	51.2	48.6	0.2
4	1	ウ	56.6	43.0	0.4
	2	(例) 細胞を離れやすくするため。	24.8	60.2	15.0
	3	ウ	52.9	46.9	0.2
	4	染色体	76.6	16.4	7.0
	5	減数分裂	56.6	29.1	14.3
5	1	6 cm	80.3	17.6	2.1
	2		42.8	52.3	4.9
	3	0.75N	48.2	46.3	5.5
	4	(例) ばねRに加える力とばねの伸びは比例の関係にある。	55.9	25.6	18.5
	5		4.1	77.5	18.4

英語

1 出題のねらい

基礎的・基本的事項を中心にして、英語のコミュニケーション能力を総合的にみることをねらいとした。

- (1) 「聞くこと」については、放送される初歩的な英語を聞き、その概要や要点を把握する力と適切に応答する力をみるものとした。
- (2) 「読むこと」については、まとまりのある英文を読んで、その内容を理解し、大切な部分を的確に読み取る力をみるものとした。
- (3) 「書くこと」については、基本的な語を正しく書く力をみるとともに、初歩的な英語を用いて伝えたいことを正しく表現する力をみるものとした。

2 結果の概要

(1) 平均点(50点満点)の推移

年 度	2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
平均点	22.9	21.4	22.9	22.7	27.8

(2) 問題数の推移

年 度		2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
理解の能力	聞くこと	1 4	1 4	1 4	1 2	1 1
	読むこと	8	8	8	6	7
表現の能力	書くこと	9	9	9	9	9

(3) 正答率の推移

年 度		2 3	2 2	2 1	2 0	1 9
理解の能力	聞くこと	63.8	64.8 (62.0)	81.3 (58.8)	74.1 (56.9)	74.4 (59.6)
	読むこと	48.2	40.1 (44.5)	40.6 (41.3)	41.4 (40.4)	57.7 (35.1)
表現の能力	書くこと	30.6	28.9 (34.7)	26.1 (52.5)	27.8 (46.8)	39.7 (44.2)
言語・文化についての知識・理解			(50.4)	(30.8)	(43.6)	(34.5)

(注) () 内は、11月に県内公立高校の1年生を対象として国・数・英で実施した学習支援テストの正答率である。

3 結果の分析

(1) 平均点は 22.9 点で、昨年より 1.5 点上がった。「聞くこと」の正答率は 63.8% で、昨年より 1.0 ポイント下がったが、概ね理解できている。「読むこと」の正答率は 48.2% で、昨年より 8.1 ポイント上がったが、まだ十分理解できているとは言えない。「書くこと」の正答率は 30.6% で、昨年より 1.7 ポイント上がったが、十分とは言えない。

(2) 「聞くこと」は、**1**の B の No. 3 が 23.8%、No. 2 が 31.6% と正答率が低い。これは、話されている内容の聞き取りが十分でなく、聞き取れた単語で単純に判断したり、選択肢の英語を正確に理解できていないためであると思われる。また、D の No. 3 が 23.8% と正答率が低く、比較的長い英文を正確に聞き取ることが十分にできていない。

「読むこと」は、**2**の 3 が 35.0% と正答率が低い。これは、代名詞が何を指しているのかということや、文をつなぐ語句の理解が不十分であるために、英文の流れがつかめていないことが原因と考えられる。また、**3**の 3 の (1) が 30.5% とこの領域では最も正答率が低い。これは、文の内容理解ができていないのではなく、現在分詞と過去分詞の正確な理解ができていないためである。

「書くこと」は、わずかではあるが無答率が下がり、正答率が上がった。しかし、これは、**4**の語順を問う問題の正答率が上がったため、**5**の 1 の語彙の問題や**5**の 2 の英作文においては正答率が下がった。品詞の用法に誤りが多く、また、不注意な書き写しや、基本的な単語の綴りの誤りも多くみられ、書く習慣が十分に定着していない。

(3) 日常の授業において、話したり、聞いたりするコミュニケーションの場面を多くもつことで、生徒が学習した英語を繰り返し使い、初歩的な英語を身に付けたい。

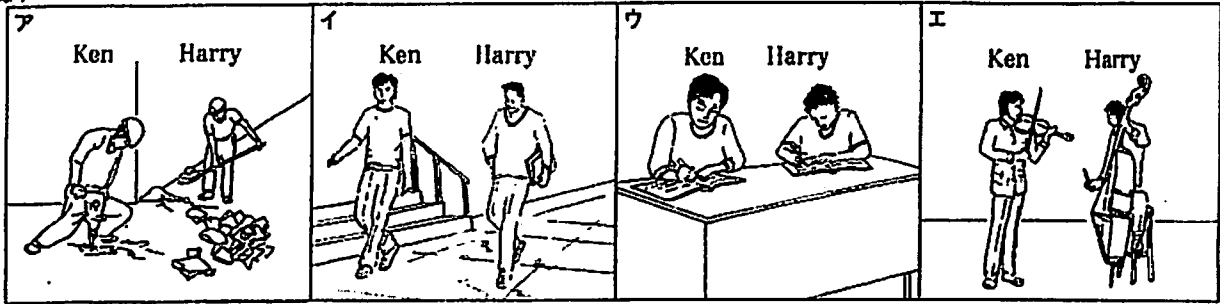
語彙や動詞の用法、語順など、基礎的・基本的な事項を身に付けるために、1年生から音読や英語を書かせる活動に段階的、継続的に取り組みたい。そのためには、日々の授業と家庭学習を効果的に関連付けることが必要である。

教科書や副読本等を使い、一定の時間内でまとまった量の英文から要点を的確に読み取る力、聞き取る力を高めたい。

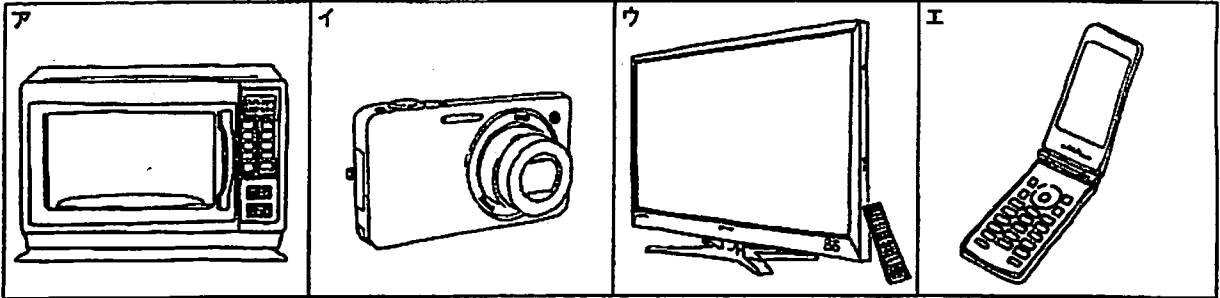
1 放送を聞いて、次のA~Dの問題に答えなさい。

A 放送される英文の内容に当てはまる絵を選ぶ問題

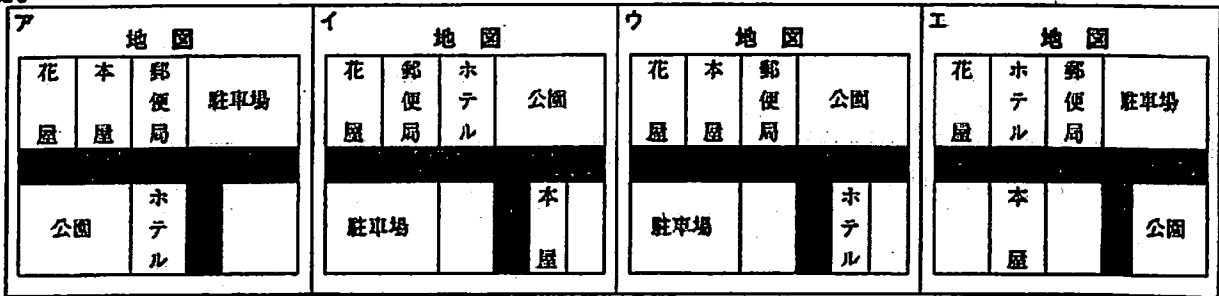
No 1



No 2



No 3



B 放送される対話を聞いて、適切な英文を選ぶ問題

No 1

- ア That's too bad.
- イ You're welcome.
- ウ It's three o'clock.
- エ I agree.

No 2

- ア I feel good.
- イ I like my school.
- ウ I slept well.
- エ I ate too much.

No 3

- ア That's a good idea.
- イ I was in the kitchen.
- ウ Let's go to the movies.
- エ How about going for lunch?

No 4

- ア In Kochi.
- イ Three years ago.
- ウ I'm sixteen years old.
- エ For studying Japanese.

C 放送される対話を聞いて、問いに答える問題

No 1 Janeが今もしているスポーツは何ですか。

- ア 水泳
- イ 野球
- ウ テニス
- エ バスケットボール

No 2 Kojiが述べていない内容はどれですか。

- ア 北海道で友達に会った。
- イ 北海道で山に登った。
- ウ 沖縄で祖母に会った。
- エ 沖縄で海水浴をした。

D 放送される英文を聞いて、メモを完成させる問題

メモ

○誰から:

○用件:

- ・ の午後、映画に行けるかどうか。
- ・ 12:30に で待ち合わせ、昼食を一緒に食べる。
- ・ 映画の始まる時刻は、 。
- ・ , 電話をする。

No 1

- ア ルーク
- イ マイク
- ウ ジョン
- エ ポール

No 2

- ア 木曜日
- イ 金曜日
- ウ 土曜日
- エ 日曜日

No 3

- ア 中華料理店
- イ 映画館
- ウ 学校
- エ 駅

No 4

- ア 12:30
- イ 12:50
- ウ 13:15
- エ 13:50

No 5

- ア 一緒に行けるなら
- イ すでに予定があるなら
- ウ 他のアイデアがあるなら
- エ わからないことがあるなら

2 次の1~3の問いに答えなさい。

1 次の英文の表題として適切なものを、下のア~エから一つ選び、その記号を書け。

You can find a lot of fast food restaurants in towns all over the world. Why are fast foods so popular? For one reason, you feel safe because you know what the food is like. You can eat the same fast foods like hamburgers in many countries. For another reason, many people are very busy. Time is very important for them. They don't have to wait for a long time and can eat their lunch very fast. Also, they usually don't spend a lot of money there. Some people say that eating fast foods is bad for your health, but people still like them.

(注) reason 理由 feel safe 安心する hamburger(s) ハンバーガー spend 使う health 健康

- ア ファーストフードと健康との関係
イ ファーストフードが好まれる理由
ウ ファーストフードの起源と歴史
エ ファーストフードが安い理由

2 次の英文の [] に入る最も適切なものを、下のア~エから一つ選び、その記号を書け。

Japan has become a country of dog lovers. Many people have dogs at their houses and take care of them. People who love dogs go for a walk with them every morning and evening. They also go to many shops with them. There are even some restaurants which have a special menu for dogs. Dog lovers enjoy having lunch or dinner with them. For such people, they are not just pets. []

(注) lover(s) 愛好者 menu メニュー pet(s) ペット

- ア They don't want dogs to come into shops.
イ They stay at home all day without their dogs.
ウ They have no restaurants for dogs in Japan.
エ They are like family members or friends.

3 次の英文中の [] に、後の①~④の4つの文を入れると、意味の通る文章が完成する。このときの①~④の順序として適切なものを、下のア~エから一つ選び、その記号を書け。

What is important to most living things? There are some important things. [] They need water to live.

- ① It makes up almost all parts of spinach.
② One of them is water and it makes up a large part of the bodies of most living things.
③ These two examples show that they cannot live without water.
④ For example, it makes up about 65% of a human body.

(注) living thing(s) 生きもの make up ~ ~ を構成する part(s) 部分 spinach ほうれん草 human 人間の

- ア ③→①→②→④
イ ③→②→④→①
ウ ②→④→①→③
エ ②→③→①→④

3 次の英文を読んで、下の1~3の問いに答えなさい。

My name is Keiko. I like music very much. I cannot be happy without music. When I was five years old, my father bought me a piano. Then I started to play the piano. My piano was too big for me, but I enjoyed playing it.

When I was six, I started to take piano lessons. My piano teacher, Ms. Mori, was an old woman who lived near my house. She was interested in many things and enjoyed her life very much. She was always smiling. She was loved by people around her because her stories were very interesting and she was always nice to them. She was a very good teacher and taught me how to play the piano better. Also, she taught me great music. I talked about music with her after listening to many kinds of music. That was my favorite thing to do after my piano lessons.

One day when I visited her, she played the piano and sang a song. It was an English song and I couldn't understand the words, but I thought it was a very beautiful song. I said to her, "What is the name of the song? It sounds beautiful." She said, "Thank you. I wrote this song. The name of the song is 'My Friend'. This is the song for my very important friend who died ten years ago. She liked music very much. She was very nice and always helped me when I had a hard time. I liked her very much. Today is the anniversary of her death. I always sing this song for her on this day."

Then I learned the song from her. I was not good at speaking English, but I tried hard because I really wanted to sing that beautiful song together with her.

Two years ago, Ms. Mori went to Austria to study music. Today, I got an e-mail from her. In her e-mail she said, "I'm having a good time with great music and great people here in Austria. I can learn something new every day. I'm really happy." I'm glad to know that. She is 70 years old now and still active. I remember everything she did for me. I thank her very much now because music makes my life wonderful. I like her so much and I want to be a nice woman like her someday.

(注) lesson(s) レッスン have a hard time つらい時を過ごす the anniversary of her death 彼女の命日
Austria オーストリア active 行動的な

1 本文の内容から考えて、Keikoが最初にピアノを弾くようになったきっかけは何か。適切なものを、次のア~エから一つ選び、その記号を書け。

- ア Keikoのおばが素晴らしいピアニストだったから。
イ Keikoが小学生の時、音楽が苦手だったから。
ウ Keikoの父親がピアノを買ってくれたから。
エ Mori先生がとても楽しい先生だったから。

2 文中の下線部の内容が具体的に書かれている英語1文を、本文中からそのまま抜き出して書け。

3 次の英文は、本文の内容をまとめたものである。本文の内容に合うように、文中の(1)~(3)に当てはまる適切な英語1語を書け。
Keiko started to take piano lessons from Ms. Mori. Ms. Mori was loved by people around her because they were (1) in her stories. Keiko enjoyed talking about music with Ms. Mori. One day Keiko heard a beautiful English song. It was sung by Ms. Mori. The song was for her good (2) who died. Keiko sang the song together with Ms. Mori. Now Ms. Mori is 70 years old and still active. She has lived in Austria (3) two years. Keiko thanks Ms. Mori so much because Ms. Mori taught her many things about music. Keiko loves music and wants to be a nice woman like Ms. Mori.

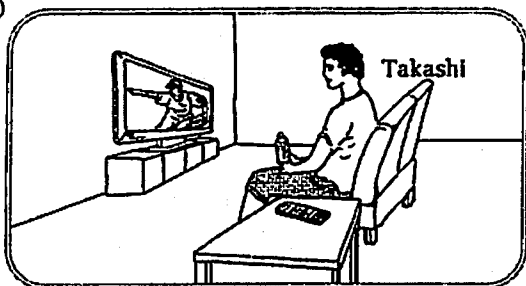
4 次の1～3の対話文の〔 〕内の語句を並べかえて、意味の通る英文を完成させなさい。ただし、〔 〕内の語句を全部使うこと。

- 1 *Mika* : Wow, you have a beautiful picture!
Sam : Shall [you / I / more / show] pictures?
Mika : Yes, please.
- 2 *Lisa* : Kochi All Stars is a very good baseball team.
Jiro : Look at [over / running / the player / there].
Lisa : Wow, he is one of the best players in Japan.
- 3 *Saori* : What did you do yesterday?
John : Nothing special. How about you?
Saori : Well, [my family / went / I / with / shopping].
John : What did you get?

5 次の1・2の問いに答えなさい。

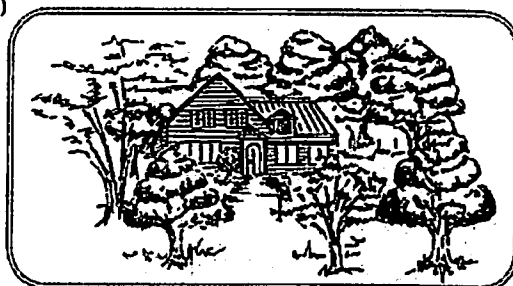
1 次の(1)～(4)の〔 〕内の絵や英文の内容から考えて、それぞれ下の英文の〔 〕に当てはまる適切な英単語1個を書け。ただし、〔 〕内に示した文字で書き始めること。

(1)



Takashi is [w] a baseball game on TV.

(2)



There is a house [a] the trees.

(3)



All the members of the club should [b] this card with them when they come to the club.

(4)



These people are here to [s] things which they don't need.

2 Megumiは、昨年イギリスでのホームステイでお世話になったHelenに、日本から誕生日カードを送ることにしました。次のカードは、Megumiが書いたものです。このカードを見て、下の(1)・(2)の問いに答えよ。

Dear Helen,

Happy Birthday!

It has been a year since I stayed with you. I remember that I had a very good time on your birthday. It was a wonderful birthday party. We sang songs, danced together and ate cake. [A] On my birthday, my family had a big party for me. My father gave me a new bike.

[B] I hope you can enjoy staying with us. See you then.

Love,

Megumi



(1) [A] に、今年の誕生日の子定をたずねる英単語1文を書け。

(2) [B] に、今年の夏にこちらに遊びに来ませんかと誘う英単語1文を書け。

英語 抽出答案による正答率等

問 題		正 答	正答率	誤答率	無答率	
1	A	No. 1	イ	90.8	9.2	0
		No. 2	ア	95.5	4.5	0
		No. 3	ア	46.5	53.5	0
	B	No. 1	ア	56.4	43.4	0.2
		No. 2	エ	31.6	68.2	0.2
		No. 3	ウ	23.8	76.0	0.2
		No. 4	イ	65.2	34.6	0.2
	C	No. 1	ウ	84.4	15.6	0
		No. 2	イ	93.0	7.0	0
	D	No. 1	イ	93.6	6.4	0
		No. 2	ウ	84.8	15.2	0
		No. 3	イ	23.8	76.2	0
		No. 4	エ	37.1	62.7	0.2
		No. 5	ア	66.4	33.4	0.2
	2	1	イ	78.1	21.9	0
2		エ	43.7	55.9	0.4	
3		ウ	35.0	64.6	0.4	
3	1	ウ	79.5	20.5	0	
	2	I talked about music with her after listening to many kinds of music.	38.3	34.0	15.4	
			部分点 12.3			
	3	(1)	interested	30.5	54.3	15.2
		(2)	friend	40.4	42.8	16.8
(3)		for	40.4	44.4	15.0	
部分点 0.2						
4	1	I show you more	60.7	37.5	0.2	
			部分点 1.6			
	2	the player running over there	48.1	48.2	0.8	
			部分点 2.9			
	3	I went shopping with my family	65.6	28.9	1.2	
			部分点 4.3			
5	1	(1) watching	55.3	38.5	5.1	
			部分点 1.1			
			(2) among	7.8	82.2	10.0
			(3) bring	13.7	65.4	20.9
	(4) sell	20.7	70.7	8.4		
		部分点 0.2				
	2	(1)	(例) What are you going to do on your birthday this year?	1.0	53.3	37.1
				部分点 8.6		
		(2)	(例) Would you like to come and see us this summer?	2.7	44.7	37.9
				部分点 14.7		

これから英語の学力検査を始めます。問題用紙と解答用紙に受検番号を書いてください。(問 10 秒) ①の問題を見てください。問題は放送によるテストで、A、B、C、Dの4問あります。放送中、問題用紙にメモをとってもかまいません。

それでは、Aを始めます。Aは、放送される英文を聞いて、その内容に当てはまる絵を選ぶ問題です。問題は、No. 1 から No. 3 まであります。それぞれの英文の内容に当てはまる絵をAからEの4つのうち、一つずつ選んで、記号で書いてください。英文は、それぞれ2回放送されます。では、始めます。(問 3 秒)

No. 1 Ken is walking with his friend Harry. (問 3 秒) [繰り返し] (問 5 秒)

No. 2 You use this when you want to cook quickly or make food hot. (問 3 秒) [繰り返し] (問 5 秒)

No. 3 The bookstore is between a flower shop and a post office. There is a park next to the hotel.

(問 3 秒) [繰り返し] (問 5 秒)

Bに移ります。Bは、放送される対話を聞いて、適切な英文を選ぶ問題です。問題は、No. 1 から No. 4 まであります。それぞれの対話の最後の発言に対して答えるところで、次の音を鳴らします。〈音〉この音のところで話される言葉としてふさわしいものをAからEの4つのうち、一つずつ選んで、記号で書いてください。対話は、それぞれ2回放送されます。では、始めます。(問 3 秒)

No. 1 A: Why does Katy look so sad?

B: Oh, she can't find her favorite pen. It was given to her by her grandmother.

A: 〈音〉 (問 3 秒) [繰り返し] (問 5 秒)

No. 2 A: Oh, I feel sick now.

B: Do you? Why?

A: 〈音〉 (問 3 秒) [繰り返し] (問 5 秒)

No. 3 A: Let's have lunch now.

B: OK, but what are we going to do after lunch?

A: 〈音〉 (問 3 秒) [繰り返し] (問 5 秒)

No. 4 A: Tom, you speak Japanese very well.

B: Thank you. I study Japanese every day.

A: When did you come to Japan?

B: 〈音〉 (問 3 秒) [繰り返し] (問 5 秒)

Cに移ります。Cは、放送される対話を聞いて、問題用紙の問いに答える問題です。問題は、No. 1 と No. 2 があります。それぞれの問いに対する答えとしてふさわしいものをAからEの4つのうち、一つずつ選んで、記号で書いてください。対話は、それぞれ2回放送されます。

まず、No. 1の問いに目を通してください。(問 3 秒) では、始めます。

No. 1 A: Hi, Jane, did you watch the soccer game last night?

B: Yes, I did. It was exciting. Do you play soccer?

A: Yes, I do, but I'm not a good player. Do you do any sports?

B: Well, when I was younger, I enjoyed swimming, baseball and tennis. Now I only play tennis. I'm going to try basketball next year.

A: Oh, you really like sports. (問 3 秒) [繰り返し] (問 5 秒)

No. 2の問いに目を通してください。(問 3 秒) では、始めます。

No. 2 A: Koji, did you enjoy your summer vacation?

B: Yes, I did. I visited some places with my brother.

A: Sounds good. Where did you go?

B: Well, on July 25th, we went to Hokkaido to see one of our friends. His father took us to a beautiful river by car. On August 15th, we visited our grandmother in Okinawa. She was very happy to spend time with us. We went to the beach and enjoyed swimming there. We had a very good summer vacation.

(問 3 秒) [繰り返し] (問 5 秒)

Dに移ります。Dは、放送される英文を聞いて、メモを完成させる問題です。あなたは、留守番電話に録音された音声聞きながら、メモをとっています。メモ用紙のNo. 1 から No. 5 のそれぞれに当てはまるものを、AからEの4つのうち、一つずつ選んで、記号で書いてください。英文は、2回放送されます。まず、メモに目を通してください。(問 5 秒) では、始めます。

〈音〉 Hi, this is Mike speaking. Where are you now? Are you at school? Well, are you free this Saturday afternoon? I'm going to see a movie with my friends John, Paul and his brother Luke. They said, "We can see an interesting movie in town now." If you can go with us, how about having lunch together before going to the movie? We're thinking about going to the new Chinese restaurant near the movie theater. Please come to the movie theater at twelve thirty. We have a lot of time for lunch because the movie starts at one fifty. Please call me if you can join us. Bye. (問 3 秒) [繰り返し] (問 5 秒)

以上で放送によるテストを終わります。では、ほかの問題を始めてください。

[参 考]

平成22年度学習支援テスト教科別応答分析・学習状況アンケートのまとめ 高知県進学協議会

1 学習支援テストの概要

- (1) 実施日 平成22年11月9日(統一実施日)
- (2) 対象生徒 高知県公立高等学校37校及び特別支援学校高等部3校
全日制、多部制昼間部1年生
- (3) 試験の内容 ①学力テスト 国語・数学・英語
②学習状況アンケート

2 学力の状況

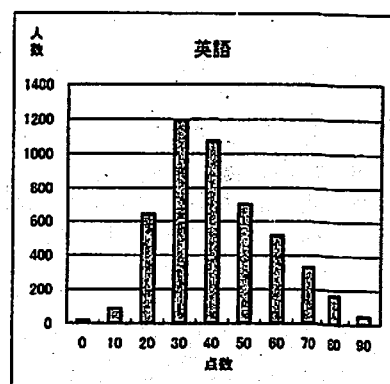
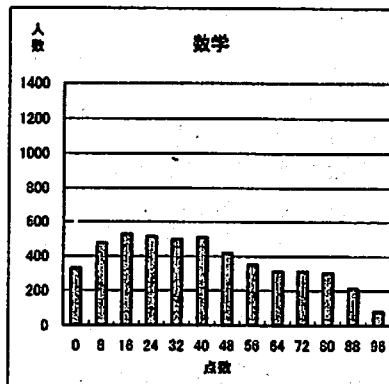
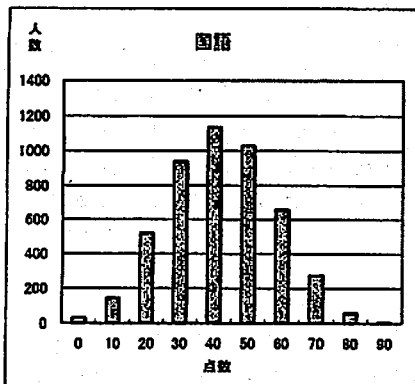
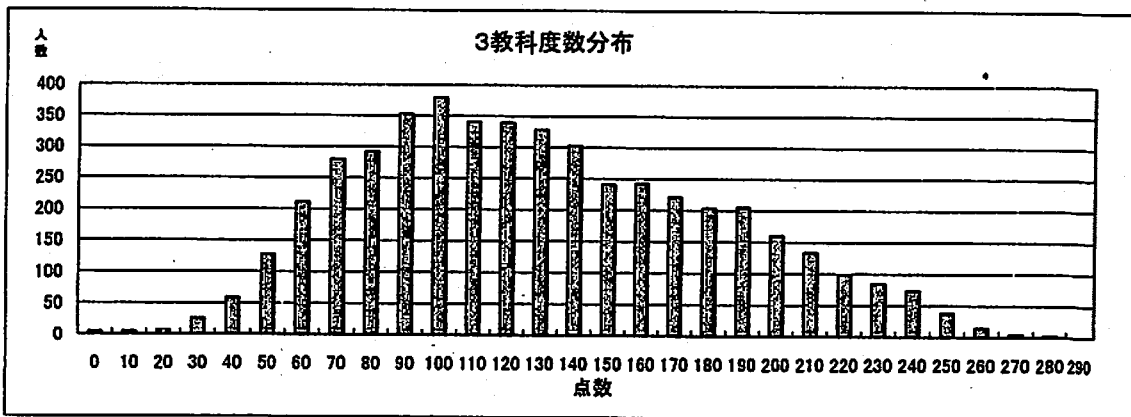
(1) 各教科の指標

	国語	数学	英語	3教科計
受験者数	4805	4797	4784	4784
平均点	46.4	41.6	46.3	134.4
標準偏差	15.5	26.0	17.2	51.5

(2) 領域別の学習状況

教科	領域	問題番号及び観点	配点	平均点	正答率(%)
国語	言語事項	1 言語事項	20	8.7	43.7
		2 現代文(論説文)	30	11.2	37.4
	読解	3 現代文(小説)	30	18.3	61.0
		4 古文	20	8.1	40.7
数学	数と式	1 数と式 ①(中学校)	20	10.0	50.1
		4 数と式 ②(高等学校)	40	15.2	37.9
	図形	2 図形	20	6.0	30.2
		3 数量関係	20	10.4	51.8
英語	理解	1~4 リスニング	20	12.2	60.8
		8~10 リーディング	40	17.8	44.5
	言語知識	5 文法・語法の知識・理解	20	10.1	50.4
	表現	6・7 英語表現の基礎力	20	6.2	31.1

(3) 度数分布



※数学は配点がすべて4点のため、8点刻みにしてあります。

3 教科別分析

(1) 国語

【全体】

基礎的な言語事項については、一定の定着がみられるが、現代文については論理的な思考に、古典については文法事項や文章内容の正確な理解に課題がある。

言語事項	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字については、日常でよく使う漢字の正答率は高かったが、日常であまり使わない漢字や同音異義語の使い分けについての理解が十分ではない。 ○語句に関する基礎的な言語事項についても、日常であまり使わない語句の用法が十分に定着しているとは言えない。 ○古文については、基礎的な文法事項の定着が十分ではない。 ○漢文については、句法、助字に関する正確な理解が十分ではない。
現代文(論説)	<ul style="list-style-type: none"> ○段落相互の関係や文章の論理展開を正確に把握する力が十分ではない。 ○本文の表現に即して文脈を考え、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを過不足なくとらえる力が十分ではない。
現代文(小説)	<ul style="list-style-type: none"> ○語句の意味を文脈の中で把握する問題の理解については概ね良好である。 ○文章に表現された登場人物の心情の変化の把握が十分ではない。
古文	<ul style="list-style-type: none"> ○古文の文脈に即して正確な語句の意味を考える力が十分ではない。 ○古文の内容を正確に読み取る力が十分ではない。

【正答率が高い問題】 * ()内は解答番号	【正答率が低い問題】
○「わしづかみにして」の意味(23) 91.2%	○古語「やがて」の意味(28) 3.6%
○漢字「シュウヘン(辺)」(1) 80.5%	○論説における論理展開の把握(19, 20) 9.2%
○小説の傍線部3の説明(26) 80.5%	○漢文の再読文字の用法(11) 9.6%
○語句「腰が(重い)」(5) 75.3%	○古文における内容の把握(34) 21.8%
○「言葉をついだ」の意味(22) 71.8%	○論説における論理展開の把握(18) 22.9%

【今後の対応策】

文章の内容を正確に読み取る力を育てるため、一層の指導の充実が必要である。

- 言語事項の指導については、語彙を豊かにするとともに、様々な文脈の中で適切に使いこなすことができるよう、実際の言語活動を意識した学習の充実が必要である。
- 現代文の指導については、文章全体の構成に注意しながら、論の展開や人物の心情を読み取って、適切にまとめる学習活動を充実する必要がある。
- 古典の指導については、語句の意味・用法などの正確な理解と定着を図るとともに、文章の構成や展開に即して内容をとらえる学習活動を充実させる必要がある。

(2) 数学

【全体】

出題内容は、中学校の数学の内容も含めた高校数学の基礎となるものであったが、各領域とも十分定着しているとはいえない。

数と式	<p>【中学校の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○累乗の計算力が不足している。(問題 1 (1)) ○最終的な答の約分ができていない解答があった。(問題 1 (2)) ○分子のかっこのはずし方が不十分な解答がみられた。(問題 1 (3)) ○連立方程式に分数が入ったためか、無答率が 15.0%と高くなっている。(問題 1 (5)) <p>【高等学校の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「次数の高い項の係数」の意味が理解できておらず、一番大きい係数を答えている。(問題 4 (1)) ○3乗の展開公式を正しく覚えていない。(問題 4 (3)) ○絶対値記号の意味が十分に理解できていない。(問題 5 (1)) ○分母の有理化の正答率は 23.0%、無答率は 29.5%と理解が十分ではない。(問題 5 (2)) ○無答率は 23.5%と解の公式の理解が十分ではない。(問題 5 (3)) ○不等式の解法が十分に定着していない。(問題 5 (3)) ○二次方程式の利用(文章題)では、正答率は低く、文章を読んで式を作ることが十分にできていない。(問題 5 (5))
図形(中学校)	<ul style="list-style-type: none"> ○図形の領域は、平面図形よりも空間図形を扱った問題での正答率が低い。 ○52.6%が正四面体と四角柱の違いを把握できていない。(問題 2 (2)) ○円周角の性質や円周角と中心角との関係が十分に、定着しているとはいえない。(問題 2 (3)) ○三平方の定理を利用する問題は教科書でも扱われているが、正答率が低い。 $\sqrt{169}=13$ができていない。(問題 2 (4)) ○補助線を引くことに気付いていない。図示された数字を使って比の計算をしている解答がみられた。無答率も 27.4%と高い。(問題 2 (5))
数量関係(中学校)	<ul style="list-style-type: none"> ○二次の係数の符号と凸の関係は捉えられている。(84.1%) (問題 3 (2)) ○全事象の数を正しく数え上げることができていない。(問題 3 (4)) ○半数弱の生徒はグラフの読み取り自体はできていると思われるが、5.3%の生徒は、三角形の面積の公式の $1/2$ を忘れていたものだと考えられる。無答率も高い。(問題 3 (5))

【正答率が高い問題】

○因数分解①(問題 4 (4))	79.3%
○正負の数の四則演算(問題 1 (1))	68.4%
○単項式の乗法(問題 4 (2))	61.2%
○整数の大小関係(問題 3 (3))	61.0%
○連立方程式(問題 1 (5))	60.8%

【正答率が低い問題】

○平行線と線分の比(問題 2 (5))	8.3%
○一次不等式(問題 5 (4))	12.1%
○空間図形(問題 2 (2))	22.2%
○根号を含む式の計算(問題 5 (2))	23.0%
○空間図形(問題 2 (4))	26.9%



【今後の対応策】

- 計算力や公式を身につけるには、ある程度の演習量をこなすことが必要である。反復学習をしつつ、生徒の学習意欲が維持されるよう、継続的な指導が必要である。
- 問題に書かれている条件から図・グラフ・数式を導き出すなど、一つ一つのプロセスを意識した指導が必要である。
- 数学独特のマーク式の解答に不慣れなために生じた誤答もみられた。こういった出題形式や解答方法について、もう一度指導のうえ、同様の問題に取り組みさせることも必要である。

(3) 英語

【全体】

領域別の結果としては、「理解（聞くこと）」の正答率が60%を超え、おおむね良好である。「言語知識」の正答率は、この4年間で最高となり、50%を超えた。上昇傾向であった「表現」の正答率は下がった。「理解（読むこと）」はまだ十分ではないが、正答率が少し向上した。文法・構文の知識・理解、英文の速読力の定着が不十分である。

理解 (聞くこと)	<ul style="list-style-type: none"> ○聞くことにおいては、おおむね中学校レベルの力は身につけていると思われる。 ○音素の聞き取り、単文の聞き取りの問題はおおむね良好であるが、(6)のようにやや複雑な内容の英文による比較表現の聞き取り（理解）が不十分である。 ○対話・英文の聞き取り問題は、慣用的な受け答え表現や、距離を問う“How far ~?”の表現の聞き取り（理解）が不十分である。
言語知識	<ul style="list-style-type: none"> ○言語知識については、不定詞、接続詞、現在完了形等の定着がみられ、正答率はこの4年間で最も高くなった。 ○前置詞、関係代名詞、代名詞を区別する力や、時制の規則の理解が不十分である。
表現	<ul style="list-style-type: none"> ○表現については、正答率はこの4年間で最も低く、基本的な表現の定着が不十分である。 ○語整序に関する問題では、基本的な語順の理解や、問題7で扱った各表現の定着が不十分である。
理解 (読むこと)	<ul style="list-style-type: none"> ○読むことについては、正答率はこの4年間で最も高く、向上の兆しが見られる。 ○正答率が低い問題では、語彙や表現の知識、論理的に読む力が不足している。 ○ある程度まとまった英文を読む力はつきつつあるが、正確性はまだ不十分である。

【正答率が高い問題】		【正答率が低い問題】	
○音素の聞き取り (1)	98.9%	○語整序 (32, 33)	11.9%
○単文の聞き取り (5)	98.6%	○比較的長い文の要点把握 (49)	18.5%
○対話文を聞き取り、要点を押さえる (11)	89.1%	○語整序 (30, 31)	21.8%
○文法・語法 (15)	82.9%	○文法・語法 (14)	22.0%
○パラグラフの概要把握に関する問題 (44)	77.4%	○語整序 (28, 29)	22.4%



【今後の対応策】

- 高校入学後、中学校での学習事項の確実な定着を図る。
- 基本的な英文の徹底的な定着を図るために、繰り返し音読したり、筆写する活動などに取り組ませる。
- 多読用図書、英字新聞やインターネットなどを活用し、多くの英文に触れる機会を設ける。
- まとまった英文を一定時間で読み、要点をつかむ訓練（スキミングやスキミング）を意図した授業展開の工夫をする。
- 英文の構造、表現、語彙の定着を図るために、「生徒が英語を読む、聞く、話す、書く時間」をバランスよく確保した授業を行う。
- 年間シラバスや短期シラバスを作成し、生徒の実態にあった到達目標を明確にする。

4 学習状況アンケートのまとめ

<p>【全体の傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 進路希望 <ul style="list-style-type: none"> ・「国公立4年制希望」が約3割、生徒数にして約1500人であるが、平成22年3月卒業者の進学者数は487人であり、希望者の約3割しか実現されていない。 ・下位層ほど「卒業後の進路が未定」「進路のことを誰にも相談しない」が多くなる。 ○ 自主学习・家庭学習時間 <ul style="list-style-type: none"> ・約4割が授業以外で学習をしていない。上位層でも15%は授業以外で学習をしていない。 ・学習時間が少ない理由は、上位層「意志が弱い」中位層「テスト前だけで十分」下位層「勉強は好きでない」が特徴的である。 ・下位層の56%の生徒は、各自の学習時間を「不十分だと思う」と認識している。 ○ 教科が不得意な要因 <ul style="list-style-type: none"> ・「興味がわからない」「勉強の仕方が分からない」「勉強しても点数がとれない」が7割を占める。 ○ 授業や学習に対する考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・勉強が大切と思っている生徒は、8割であるが、勉強が好きな生徒は約15%にすぎない。 ・授業の半分以上が分かっている生徒は8割である。 ○ 勉強の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の予習・復習をほぼ決まった時間に行う学習の仕方の生徒の学力が高い傾向にある。 ○ 勤労観・職業観 <ul style="list-style-type: none"> ・働くことに対する重要性を9割の生徒が認識している。 ・7割の生徒が興味を引かれる職業を持っている。 ○ 自己肯定観・学習意欲 <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身に満足している生徒が各層とも2割程度と低い。 ・上位層になるにつれて、答えだけではなく学習プロセスを重視する傾向が見られる。 ○ 学習環境 <ul style="list-style-type: none"> ・朝食の摂取率と学力には相関が見られる。 ・4人に一人の生徒が1日のメール送信数が30通を越えている。下位層につれてその割合は多い傾向にある。 	
<p>【上位層に共通した傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ほぼ決まった時間に机に向かう学習習慣がある。 ○将来の目的達成のための授業を期待する傾向が強い。 ○将来就きたい職種にこだわりをもっている。 ○学習の目的に、新しいことを学ぶ楽しさをもっている。 ○学習に対して、プロセスを重視する傾向が見られる。 ○間違っても、次へつなげる柔軟性がある。 ○朝食をきちんととれている。 	<p>【中・下位層に共通した傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業の予習・復習が少ない ○課題があれば中位層の4割、下位層の3割は学習している。 ○授業で分からないことがあっても放置している。 ○なぜ勉強をするのか分からない割合が多い。 ○周囲から期待されていると感じている割合が少ない。 ○丸暗記の学習方法の割合が高い。 ○学習の仕方が分からない割合が高い。
<p>【テスト結果と相関のあった質問項目】(注) ()内の数値は、相関係数</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やや相関がある。 <ul style="list-style-type: none"> 設問13 あなたは、学校の授業がどの程度分かりますか。(0.30) 設問42 テストでできなかった問題は、あとからでも解き方を知りたい。(0.29) 設問16 勉強が好きだ(0.25) 設問17 勉強は大切だ(0.25) 設問40 ただ暗記するのではなく、理解して覚えるようにしている。(0.24) 設問50 朝食をとっていますか。(0.23) 設問34 他の人に負けたくないから勉強している。(0.23) 設問49 新しいことを学ぶのはそれ自体楽しいから勉強している。(0.20) 	